臺灣日日新報 夕刊
十一月二日
夕刊定價一部 錢
編輯兼發行人 佐々木齊
發行所 臺灣日日新報社 臺北市榮町四丁目廿三番地

アラフイズ 複寫紙

外地首腦者と拓相が重要協議
統治の根本原則や庶政一新に關して

【東京二日發】永田拓相は二日關西より歸京後早々外地長官と打合せの爲め相次で上京する事になつてゐる大野朝鮮政務總監、森岡[illegible]兩長官と會見、人事問題に對する方針等を聽取すると共に外地統治の根本原則についても庶政一新と內外地★ブロックの強化の見地より左の諸點につき重要協議を行ふ事となつたが、拓務省廢止說が傳へられつつある折柄拓相の右の如き積極的なる態度は頗る重視されてゐる

一、外地統治改善方策の有無
一、內外地行政調整策
一、外地行政機構の改革可能の範圍
一、外地に對する補給金存廢問題
一、外地特別會計の一般會計繰入問題
一、拓務省機構の改革強化

（寫眞は上から永田拓相、大野總監、森岡[illegible]）

陸軍豫算

全的承認を要求
六ケ年計畫を初めとして
陸、藏の見解に相當の懸隔

【東京二日發】明年度陸軍豫算は陸軍、大藏兩事務當局間で折衝中であるが馬場藏相は事務當局間で十分折衝を遂げた上未解決の問題だけを政治的解決に移す事を要望してゐるので、陸軍當局は目下陸軍豫算の特異性、重要性を說明し其の全的承認を求めつつあり、特に該豫算で陸軍として最も重點を置いてゐるのは十二年度より着手計畫の新國防充備六ケ年計畫の全的承認並に每年新規要求の形で提出されてゐる滿洲事件費の經常費としての承認を要求する點にして、而も新國防充備計畫の爲には初年度二億圓、二年度以降六年度に至る迄各五億圓づつの新規要求增額を來す事となり、十二年度では陸軍所管として總額八億餘萬圓に過ぎぬが十三年度以降は平均約十億圓見當となつて居り、陸軍側はこれは何れも不可分の計畫で明年度豫算のみ切離して承認を得る事は意義を爲さず、繼續事業としての全計畫を承認すべき事を當然の要求としてゐる、これに對し大藏省は明年度のみ取敢ず承認し十三年度以降は諒解事項として取扱はんとの意向で折衝が行はれてゐるが、兩者の見解は相當懸隔を見てゐるが何れにするも陸軍としては既に二割近くの單價切下げを斷行し再編成の上提出した豫算であるから兵力の增減に影響を及ぼさざる限り殆ど節減の餘地なきものとし明年度豫算並に六ケ年計畫の年度割につき提出豫算の原案承認を强硬に主張し以つて新計畫の成立を急がんとしてゐる

獨伊共同戰線は平和維持の礎石
ムツソリニ首相が演說
新外交政策を闡明

【ミラノ一日發同盟】ムツソリニ伊首相は一日午後二時ファシスト搖籃の地ミラノのカテドラル廣場に於いて二十五萬の聽衆を前にイタリー政府の新外交政策を闡明する大演說を爲した、右演說に於てムツソリニ首相は先づ聯盟の縱斷的平和機構を痛烈に扱下して曰く

吾々イタリー國民に關する限り聯盟は**形骸的存在**に過ぎず死滅して可なりである、一にして不可分なる聯盟の所謂集團的安全保障主義とその平和理論は共に幻想に過ぎない

次で現下の國際情勢に關聯し各國に對する伊政府の外交政策を闡明し左の通り述べた

佛政府が日和見的態度を改めぬ限り伊政府も佛に對し留保的態度を執らざるを得ない、オーストリアはサン・ジエルマン條約の桎梏を敢然打破して自主獨立の新時代を迎へつつある、大戰の結果手足を斬り取られたハンガリーに對し正義を與へなければダニューブ流域には**決して平靜**は齎らされない、ユーゴースラビアとイタリーとの關係は漸次改善され兩國間の空氣は著しく明朗化するに至つた、更に獨伊關係はチアノ外相のベルリン訪問を機とし一層緊密の度を加へるに至つたが獨伊共同戰線こそ平和を維持する一切の國家提携の礎石である英政府との間には地中海協定を締結することが絕對に必要である、しかし右は飽くまで相互の權益を急速且つ完全に承認することをもつて原則とせねばならぬ

英伊の衝突等は到底考へられぬ、しかも伊は英國がエチオピアにおけるイタリーの既成事實を取消し得ぬものとして認めることを必要と考へる

（寫眞はムソリーニ首相）

英國は不滿
ム首相の外交宣言に

【ロンドン一日發同盟】ムツソリニ伊首相の新外交政策宣言に對し英國政界では左の如く可成り不滿を示してゐる

一、地中海の安全保障は英國自身の安全を意味する、從つてムツソリニ首相が新宣言中に於いて言及した如き地中海協定の締結には先づ西歐協定の成立なくしては到底應諾する事は出來ぬ
一、又獨伊共同戰線が平和的國家間の協調の礎石たるべしとの言明は新ロカルノ體制建設の努力を無にするに均しい、英國政府は既定方針に從つて新ロカルノ體制の確立に邁進する

調査局を廢して策謀の根源を一掃
政友首腦に意見擡頭

【東京二日發】政友首腦部の一部には最近政黨排擊に關する各種の策謀は大部分內閣調査局より出づるものであるから議會に於いて調査局の豫算を削除し策謀の根源を一掃すべしとの意見擡頭し、議會到來と共に其の發展如何は重大視さる

立候補者なきは僅かに四區だけ
州議戰 全面的に活況

[illegible]が一日正午迄に督府地方課に達した立候補者を見るに臺中四、五區を初め臺北二區、新竹二區も各定員五名に對し既に八名の立候補者[illegible]競戰を思はせる、臺北第四區も立候補者が出て、平穩な高雄三、四區はそれぞれ定員に達した新竹一區、臺南二區、臺[illegible]一、二區に未だ候補者が無い[illegible]漸く全面的に活況を來たし[illegible]ある（二日正午現在）

△臺北州
第一區 臺北市表町一[illegible] 物品販賣業 鈴木[illegible]
第二區 基隆市義重町三ノ一 醫師 古山昌[illegible]
第三區 三峽庄公館後字[illegible]一二六 炭礦業 陳炳[illegible]
四區 [illegible] 醫師 [illegible]
△新竹州
[illegible] 醫師 [illegible]
第三區 竹南郡頭分庄頭分字頭分三九三 貸地業
推薦 黃興生（四三）
（訂正）昨報新竹州二區立候補者吳父宗は吳永宗の誤り
△臺南州
第二區 新營郡水康庄大營一〇一三 醫師
推薦 謝水蘭（三八）
第三區 新化郡新化庄竹[illegible]文一一五 會社員
推薦 中島與一（四九）
（訂正）昨報臺南州一區吳秋發とあるは吳秋微の誤り
△高雄州
第一區 岡山郡岡山街 醫師
自立 王査某（五[illegible]）
第二區 岡山郡彌陀庄 貸地業
推薦 高文良（四[illegible]）
第三區 岡山郡路竹庄 醫師
自立 薛文禎（三五）
第四區 潮州郡潮州街 信用組合長
推薦 林[illegible]（五[illegible]）

七次會談を前に現地首腦者會議
全員南京に集[illegible]

[illegible]

區裁判所監督判事會同

[illegible]

協商[illegible]

[illegible]

杉山教育總監大將に親任さる
二日宮中鳳凰の間で

【東京二日發】教育總監陸軍中將杉山元中將は去月末日で中將在官滿六年三ケ月に達したので現職の儘陸軍大將親任の御沙汰あり天皇陛下には二日午前十時鳳凰の間に出御、廣田首相侍立の上親任式を行はせられ、御前に參進せる杉山中將に對し陸軍大將親任の勅語を賜ひ首相より左の官記を授け陛下には入御遊ばされた

陸軍中將從三位勳一等功五級 杉山元
任陸軍大將

（寫眞は杉山大將）

臣下の大將三名となる

【東京二日發】陸軍では二・二六事件のため一時に現役大將八名を失ひ現在では臣下として寺內陸相と植田關東軍司令官の二大將を有するのみで今回杉山新大將を加へ三人となつた譯である、杉山新大將はその經歷が示す如くその透徹せる識見と豪放な性格とは現陸軍の長老として部內各方面から假望を受け國軍の地位益々重大を思はせる際偉大な存在となつてゐる

紡績棉花消費高

【ワシントン三十一日發同盟】米國農務省は一九三五—六年度の世界紡績棉花消費高を二千六百八十萬俵と發表前年度に比し六パーセント以上の增加に當つてゐる

佐々木部長の初巡視

【基隆電話】新任佐々木警務部長は初巡視の爲め二日午前九時四十分自動車で來基、基隆署、郡警察課、港務部、水上署の順に巡視、職員の伺候を受けて訓示を行ひ午後よりは關係各官衙の挨拶廻りを行つた

湖北省主席は熊式輝氏か

【上海一日赤星特派員發】楊永泰の死後湖北主席の後任人選及び之に伴ふ人事異動は對日關係と錯綜し蔣介石を苦慮せしめてゐるが信ずべき支那側の消息に依ると張群の湖北復歸異動は日支交涉重大の際外交部長の更迭難で實現出來ず結局楊亡き後も政學會系の重鎭で日本とも關係深く且つ蔣の信賴篤い江西省主席熊式輝に落付くと見られる、その際前トルコ公使賀耀組は湖南省主席を希望してゐるが湖南主席何健の異動困難な爲め賀を江西省主席で納得せしめ賀が湖南人であるを考慮して江西より何健を監視する方針を採ると見られてゐる

重光大使參內

【東京二日發】近く赴任する駐ソ大使重光葵氏は二日午前十時宮中に參內天皇陛下に拜謁仰付られ御暇乞ひを言上した

人事

▲山下恒雄氏（明治生命常務取締役）三十一日東部より來北、二日蓬萊丸にて歸京
▲山本正一氏 臺北市錦町一五七へ轉居

無絃琴

臺灣拓殖の副社長に內定したらしい例の久宗董君、そんな世間の噂など知らないよ——と言はぬばかりに滿洲の空を旅行して廻つてゐたが、十月二十一日、哈爾賓に行き着き同地の于酒家で滿蒙の舊友連と會し、虹の如き氣焰を揚げてゐたといふ▲その時の模樣が本紙へテレヴイジヨンの如く映じて來てゐるが、當日は久宗おん大を正座に、曾て臺灣で弁護士をしてゐた石堀茂君　南の臺灣を振り出しに新高、臺灣、商工等を經て北へ北へと進んで行つて今は哈爾賓に納まつてゐる元于酒家主人など席よろしくあり、飲み且つ語る程に、談論風發、果ては「獨動」の概觀しまでやり興盛くる所を知らずといふ情景▲久宗大人も光頭を一層光り輝かしながら、頻に「南北一元」を論じ、とても面白く懐しかつた會合であつたさうだ。

愛すべき哉
（34）

武田麟太郎
挿繪 富永謙太郎

秋の日翳（四）

——僕には判らない。

さういつたものの、渡邊は、瀬川があるひはこんな誤解をしてゐないか知ら、と恐れてゐたのだ。

「——どういふことですか、それは」

この機會にはつきりさせて置いた方がいいと彼は考へた。思はずきつ[illegible]蒲團の上へ坐り直し[illegible]ちつと顏を見るのに、少しの感動もなく瀬川は、はア、とうなづいて次の言葉を待つてゐるのだ。

「——つまり、失禮ですが、瀬川さんが、清子さんとですね、僕と醜い關係でもあるのではないかと些かでも疑惑を抱いてゐられるやうに聞えたのです。それで」

瀬川は、またも、はア、と繰返した。

「[illegible]」

瀬川は兩手を延[illegible]んだ彼をなだめるやうにしたから

「——そんなに昂奮なすつちや、私困ります、さア、横になつて下さい、お身體に障りますから」

彼は立ちあがつて、渡邊の側に寄つた。肥つた彼とのコントラストで、妙に小さく貧弱に見えた。そのおろおろしてゐる恰好に、渡邊は氣の毒にもなつて

「[illegible]昂奮してゐるのは[illegible]ませんが、あなたのお[illegible]意味を[illegible]お聞きした[illegible]」

[illegible]

しておちついた。

「——いえ、私はそのことをあなたにお願ひしてゐるやうな次第なのですが、はア」

「——お願ひする？」渡邊は無遠慮に眉を深く寄せた。

「ええ、その何と申しますか」

彼を出來るだけ怒らせないやうな表現を見つけようとつとめてゐた。

「いつまでも清子を、申せば清子の戀人になつてゐて頂きたいとさうお願ひしたいと思ひまして」

[illegible]

その日その日

○

[illegible]に改めたい而も[illegible]に反對を伴ふ、既に有ゆる改善には喧嘩の覺悟を要する

○

[illegible]て喧嘩口論に[illegible]民間の感情乖離[illegible]

○

[illegible]か疾うの昔に解決してゐ[illegible]

○

一區[illegible]天下取りに熱狂するのは當然[illegible]、凄い

[illegible]

日本香油
花の匂ひ・のびゆく黑髮・女性の誇・これぞ日本黑髮の女性美
一生よい髮よい香油
日本香油で輝く美髮
石津號

英水兵事件

外紙の虚報に對し督府、眞相を公表

外事課長談の形式で

先般英國軍艦水兵が基隆入港に際し英國水兵の無錢飲食、暴行、更に基隆市社寮島事件其他等々事件が續出し大英帝國海軍の威信を傷つけるが如き行動が英國水兵に依つて爲された事は、英國海軍にとつて非常な不面目となつた事は遺憾の極みであつたが、憲兵隊、及び警察當局では英國の名譽、及び日英兩國の親善關係を考慮し、我國法に照し適正妥當な處置を講じ苟くも英國の名譽を損ずるが如き事なきよう細心の注意を以て是等の事件を處理したのであるが、先般ロンドン電報が數回に亙つて我國官憲が、徒らに英國軍人を逮捕、毆打せるが如く逆宣傳を報じた事は、折角の日英兩國親善關係を徒らに攪亂する事となり督府當局でも單なる逆宣傳として放置する事は内外に疑惑の念を深める事となるので督府坂本外事課長は談話の形式で二日左の如く記者團に其事件の經緯を發表した

"日英親善の爲に暗影を一掃し度い"

確實な反證がある

（外事課長談）最近外國新聞電報は英國東洋艦隊第四潛水戰隊英艦入港の節同地で其の乘組員水兵三名が確實なる反證あるに拘らず自動車賃不拂の故を以て警察署に拘引された上暴行を受け仲裁に入つた英國將校が侮辱を蒙つた云々の報道を齎し恰も此の樣な事が實際に行はれたかの樣な印象を内外に與へつつあるのに鑑みて、當方では各方面より極めて愼重に事案の眞相の調査を進めた所斯る事實は絶對に無く單に先方が我方を誣ぶるに過ぎないものであるとの確信を得た、從て此の事案は事實夫れ自體としては全然問題とならず寧ろ斯る報道を爲す先方の眞意を了解するに苦しむ次第であるが、此の種の報道の流布は日英間傳統の親善關係に何等か暗影を投ずるの虞れもありと思はれるので早きに及び是正することは日英親善に對する私共の義務と存じ左に本件事實の眞相を御話し内外の[illegible]

自動車の料金支拂ひを拒む

三水兵は既に泥醉

一、前述外國新聞電報の報道に該當する事實は次の通りである即ち十月七日午後十一時二分臺北發基隆行き最終列車に乘り遅れた英國軍艦乘組水兵三名は同驛發手の斡旋により同驛から料金六圓の約束で自動車に乘つて基隆に向つたが水兵等は何れも乘車の時既に酩酊 して居り尚各一本宛のビールを所持し車中でも一本を三人して飲み且つ騒いで居つたのである

二、翌八日午前零時三、四十分頃基隆市大正橋附近で停車を命じたので運轉手は同橋傍に繫留中の英國軍艦ブルース號に歸艦するものと思ひ右側より降りて岸壁即ち左側に廻りて左側の扉を開いた所水兵等は反對側の右扉より下車し料金を支拂はず無言の儘右側のカフエーダルマに立ち入らうとするので運轉手は之を追掛け手眞似で料金を請求したが件の三人は其の儘カフエー内に入つて失つたので運轉手は已む無く同カフエーの入口で偶々此の事實の終始を目撃して居た一女給に語り其の助言に依り基隆警察署に其の旨届出で同署の指示に依り其の管轄たる日新町派出所に

届出 でた（時刻午前一時十五分頃）

三、右の届出を受けた同所勤務の巡査二名は運轉手同道前述のカフエーに臨んだが言語不通の爲め一名は其の入口に居殘り一名は通譯の出來る一警察官の應援を求むる爲出向き十數分の後和服着用の右警察官を同道し件の水兵等に質問したる所一人は初め自動車賃未拂の事實を肯定する樣な風に見えたに拘らず、同所で飲酒中の他の英艦乘組員の應援に依り支拂濟みである事を主張するに至り且つ場所柄が調査に不適當であつた爲午前二時頃三水兵に派出所への同行を求め同所に於ては三水兵を入口より第二室目の事務室に入室せしめ椅子に腰掛けしめ前述二巡査及び運轉手同室の上前記の通譯に當つた警察官が主として種々聽取を行つた

略服の週番士官

酒氣を帶び出頭

後刻、非禮を陳謝

四、三水兵を同行後未だ十分も經たない中に略服を着た週番

士官 と稱する者が證人として一下士官を帶同來所し其の下士官が一水兵に對し自動車停車の際五圓紙幣と一圓紙幣とで十圓紙幣と兩替してやり且つ其の水兵が其の金を以て支拂つたのを目撃したと證言したが、（一）支拂つたのを下士官が目撃したと稱する水兵と自ら支拂つたと主張する水兵とは別人であること其他水兵の陳述の曖昧であること（二）運轉手の所持金を該週番士官の面前で調べた所五圓札は一枚も持つて居なかつたこと等に依り該警察官は賃金未拂の事實を推定し得たのである（三）尚自動車停車當時は他に通行人の無かつたこと及び例の下士官は三水兵の到着より一時間乃至一時間半以前から同カフエーで飲酒中であつたことは[illegible]判明した

五、此の間該週番士官も

酒氣 を帶びて居り水兵等を取調べて居る事務室と硝子戸一枚を以て隔てられた一室に居つたのであるが水兵等に對し面會を求めそれが拒絶されると、「君達は水兵を縛り上げて取調をして居る爲面會を拒絶するのであらう將校が部下の水兵に面會するには君等の干渉は受けぬ」と放言して強ひて扉を排して事務室に侵入しようとしたので該警察官より「貴官の如き泥醉した非紳士的の人は艦の代表としてこれ以上應對することは出來ない、水兵との面會を拒絶したのは證人と水兵との供述が一致しない爲で此の點に付て誤解されるのを恐れるからである現在水兵が如何なる狀態にあるかを見る丈けなら差支ない」と硝子戸を少し開いて事務室内の樣子を實見させた所水兵等は椅子に倚り頰杖を付き煙草を燻ゆらして居たのを見て該週番士官は大いに恐縮し直に謝罪して將校の制服を着用の上再び派出所に現れ先刻は酩酊して居て無禮をした旨陳謝したのであります

六、水兵等は依然支拂濟であることを主張し且「支拂濟のものを更に支拂へと云ふならば之を支拂ふべし」と爲して二重拂も辭せないとの態度に出たので該警察官は日本官憲が二重請求の不正を援助せるやの疑惑を招く樣な取扱を爲すことは日本警察官の絶對に許さざる所である旨を說いたけれども結局埒があかないので午前三時頃基隆警察署に移行したのである、而して

派出 所で取調べた時間は一時間にすぎず、此間主として取調に當つた通譯警察官は水兵三人の外届出人證人の取調及將校との應對等一人にて之に當つて居つたのであり取調べに當つた事務室は狹少で道路に面した部屋であり且つ將校は殆ど終始隣室に控へて居つたのである、又取調べに當つた警察官は米國に生れ日本で專門教育を受けた相當教養あり思慮ある警察官である

七、警察署では別の上席警察官が取り調べたのであるが、將校は[illegible]

未拂の事實を認め遂に支拂ふ

遺憾の手記を殘し三水兵は歸艦

呉れ、若し同日午前七時迄に歸艦出來なければ當直將校として自分の

責任 になる」と申入れた所同警察官より「本件は單に金錢問題ではなく運轉手が虚僞の申告を爲したものとすれば之を處分しなければならぬので眞相を判明せしむる必要があるから貴官も無理に釋放を求むるより眞相判明に協力しては如何、水兵等が眞相を告白しないのは歸艦後の處分を恐れて居るのであらうから貴官に於て事件の眞相を判明せしめる誠意があるなら水兵との會見を取計ふ」と告げた所將校は暫く熟考の上面談し度いと申入れたので警察官立會の上水兵等に會見させた處將校は「今朝七時迄自分の當直中歸艦すれば甘く取計つてやる正直に言つて呉れ」と申付け斯くて水兵達は未拂の事實を認め之を支拂つて午前五時半頃相携へて

歸艦 したのである

八、尚基隆警察署退出に當て三水兵は自動車賃金未支拂なりし事實を認め警察官に迷惑をかけたることを遺憾とする旨の手記を殘して居る

之を要するに本件に付ては我關係警察官に於て何等指彈を受くべき點はないのであり相手側の取扱に付ては寧ろ相當の好意と細心の注意を拂つたのである、只先方の申分が筋道立たず且つ其の態度が相當

傲慢 であつた爲關係警察官が之を論駁指摘した事は已むを得ざることなるのみならず當然のことであつたと思はれる、而して本件は關係者に於ても一些事として何等意に留めて居らぬのに問題となつたことを不思議として居る位で世間の問題とさるることは相手の名譽にもかかはるので今日迄私共も默殺して居たのであるが世界的ニュースとなつた以上事件の眞相摘要を說明せざるを得ざるに至つたことは遺憾に堪へない

合掌の白骨發掘

社寮島の城趾から

【基隆電話】基隆市社寮島ノールト・ホーランド城趾發掘工事は着々進捗しつつあるが一日には築城當時に人柱となつた白骨一體が發見され秘められた築城哀話が明にならうとしつつあり一同を驚ばせた發掘場所は現在城趾を示す木標の立つてゐる所即ち城壁の東北隅正面望樓の階段下に當る所で白骨は合掌して西向に腰かけた完全なもので其骨格からしてケタガランの熟蕃が犠牲になつたものらしいと云はれてゐるが年代は三百年を經てゐる、發掘の際誤つて頭蓋骨に鶴嘴を打ち込んだので目下繼ぎ合せ中であるが本明日中にも[illegible]

革命軍猛攻擊

政府軍は擊退さる

【パリ一日發同盟】パリに達した情報によればスペイン革命軍は三十一日夜來[illegible]及び戰車隊の掩護の下に[illegible]西南方四十キロのイ[illegible]政府軍に猛烈な攻擊を加へてゐると言はれるがセビイリヤ放送局の放送によれば政府軍は[illegible]南方グ[illegible]ン、エ[illegible]に進擊中の[illegible]部下の革命軍に必死の反擊を加へたが革命軍の[illegible]遂に擊退されたと傳へる

對岸情報

兩廣地方は全く中央化

長沙丸基隆入港

【基隆電話】商船北支航路長沙丸は一日未明基隆に入港した、同船日田船長は本航海を以て轉出、後任は高千穗丸有馬一等運轉士に決定してゐる、齎された情報によれば[illegible]に起つた[illegible]の[illegible]總領事館月岡巡査が本島籍民の住宅もあるので現場にかけつけ罹災本島人を非常線内に入れんとした所警戒中の支那巡警はこれを阻止して難民を[illegible]其暴句月岡巡査を多數で取りこんで拳銃をつきつける等の不法行爲に出た事件あり以來我總領事館では國威に關する問題として嚴重交渉中の所この程右巡警の責任者を罷職する事になつて表面落着した、同船で廣東駐在公中公司社員岸道三氏が福州經由來臺したが語る

兩廣地方は全く中央化した爲め南京に於ける日支交渉の現況打開かない限り局部的小さな商賣は兎も角として本格的な我貿易は全然見込が立たぬ、英の經濟的進出は最近露骨になり鐵道の外にも着々工作がなされつつあり、香港、上海銀行の借款も今後注目に價するものがある、小洋を大洋に統一する事は來年になるだらう、廣東にはルーペン軍人が多く幾分不安がないでもないが在留邦人は割合に落ついてゐる

厦門在住籍民が一千圓を國防獻金

一日荻洲參謀長を訪

[illegible]厦門在住本島[illegible]時局に鑑み一金一千圓[illegible]一日荻洲參謀長[illegible]

逃亡の横川代議士九月目に逮捕さる

昨夜、有樂座前で

【浦和一日發】選擧違犯に連座し三月以來逃亡中の埼玉縣選出政友會所屬代議士横川重次氏（四二）は一日午後六時三十分頃東京有樂座前で縣刑事課員に逮捕され浦和署に連行取調べを受けてゐる、氏は八月起訴され逃亡以來九月目に逮捕されたものである

米罷業東部に波及

運轉手、船員も合流

【華府三十一日發同盟】太平洋岸の沖仲仕罷業と相呼應し大西洋岸及びメキシコ灣岸沖仲仕も罷業せんとし形勢不穩化してゐる、各支部では本部の命令を俟たず早くも怠業に入るもの多くニューオリンズでは五百の沖仲仕が手に手に棍棒等携へ埠頭に陣を布いて罷業破りに備へ此外貨物自動車運轉手、船員五百名が罷業を決行してゐる、バルチモアでは國際海員組合船舶海員七百名が表決の結果一部罷業に決し九隻の大汽船より下船し斷行東岸總罷業の指令を待つてゐるので今やアメリカ全[illegible]大罷業[illegible]

流水バス事件

ゼネ・スト斷行か

今明日に歎願書提出

【基隆電話】基隆市街自動車會社（流水バス）從業員は先般水難會なるものを組織し代表者をして流水社長に勞働時間短縮、賃銀値上げ其他待遇改善に關する要求をなしつつあつたが今明日中には正式に要求書を提出する筈で兩者の間の事態は將に切迫しつつあり、或はゼネ・ストに入るやも知れぬ形勢にあり、警察方面でも警戒を行ひつつあるが一日朝には流水社長、基隆署に出頭其對策について[illegible]に係員に教へをこふが如き態度に出でゐた 同社の待遇改善要求問題は久しい以前からの事であつて[illegible]

を出て水源地、三張犁、松山の往復、午前八時二十九分一齊にスタート二年生林天送君が一時間二分二八秒でゴールに入つた、同校十マイル記錄は一時間二分十八秒

1林天送　2吳水木　3劉禎輝　4陳進源　5森光新　6陳炳錫　7郭宗良　8林文德　9古屋肆　10王淸來

愛婦高雄支部映寫機を寄贈

軍司令部宛に

愛國婦人會高雄支部では在臺軍隊慰安のため十六ミリ映畫映寫機四臺を軍司令部宛寄贈して來たので軍ではその好意に酬ふべく有意義に使用すべく考究中である

獅潭庄の火事

【[illegible]】一日正午頃大湖郡獅潭庄[illegible]方より發火急報により[illegible]派出所員及び壯丁團員が馳けつけ協力して消火に努めたが北[illegible]家に延燒住家二戶一棟、[illegible]家一棟、家具類を全燒して[illegible]損害[illegible]

光瑞氏の主唱で古陶瓷の陳列展

三日、西本願寺別院で

來臺中の大谷光瑞師が古陶瓷に最も多き趣味を持ち在支當時から之に深い研究を遂げ「支那古陶瓷」と云ふ著書まで著はし陶磁器に就て大なる造詣を有するので京都の例に倣ひ臺北にも臺北陶雅俱樂部を設けてはとの議あり、其の最初の試みとして三日明治節當日、午後二時から新起町西本願寺別院に於て大谷光瑞師の支那に於ける蒐集古陶瓷並に內鮮作品五十餘點を陳列展覽する事になつた、陳列は唐代から南北宋、明朝等まで發達順に並べる由、同好の士の來觀を希望すると、尚之と同時に大谷師の古陶瓷に就ての講話が有る筈であつたが、此の方は十六、七日頃、南部より歸北の上の事とし今回は陳列だけに止めるが、同陳列品は同好の士の需に應ずる由で萬事は隨行の原颯子乘氏が當つてゐる、又大谷師著の「支那古陶瓷」も少數なら當日希望者に配け得る由

市況振興に娯樂の夕

七日新竹市で

【新竹電話】夏は納涼其他でむし暑い家の中にゐるより散歩にでも夜店を賑やかし宵の町々は人出が多いが秋風が身にしむ頃になると兎角引籠り勝ちになり商店街も秋枯の淋しさを感じるのが常である、其救濟策とでも云はうか新竹市では市況振興の銘打つて、來る七日午後六時頃から公園附近を中心として夏の納涼其まま活動寫眞、素人芝居、寶探し等をやつて人出をさそひ一夜市民の娯樂の夕を催する事になつたが新しい氣の利いた試みと[illegible]の歡迎を受けてゐる

日本人が強いのは米と魚を食するから

亞國から若い兄弟の醫師

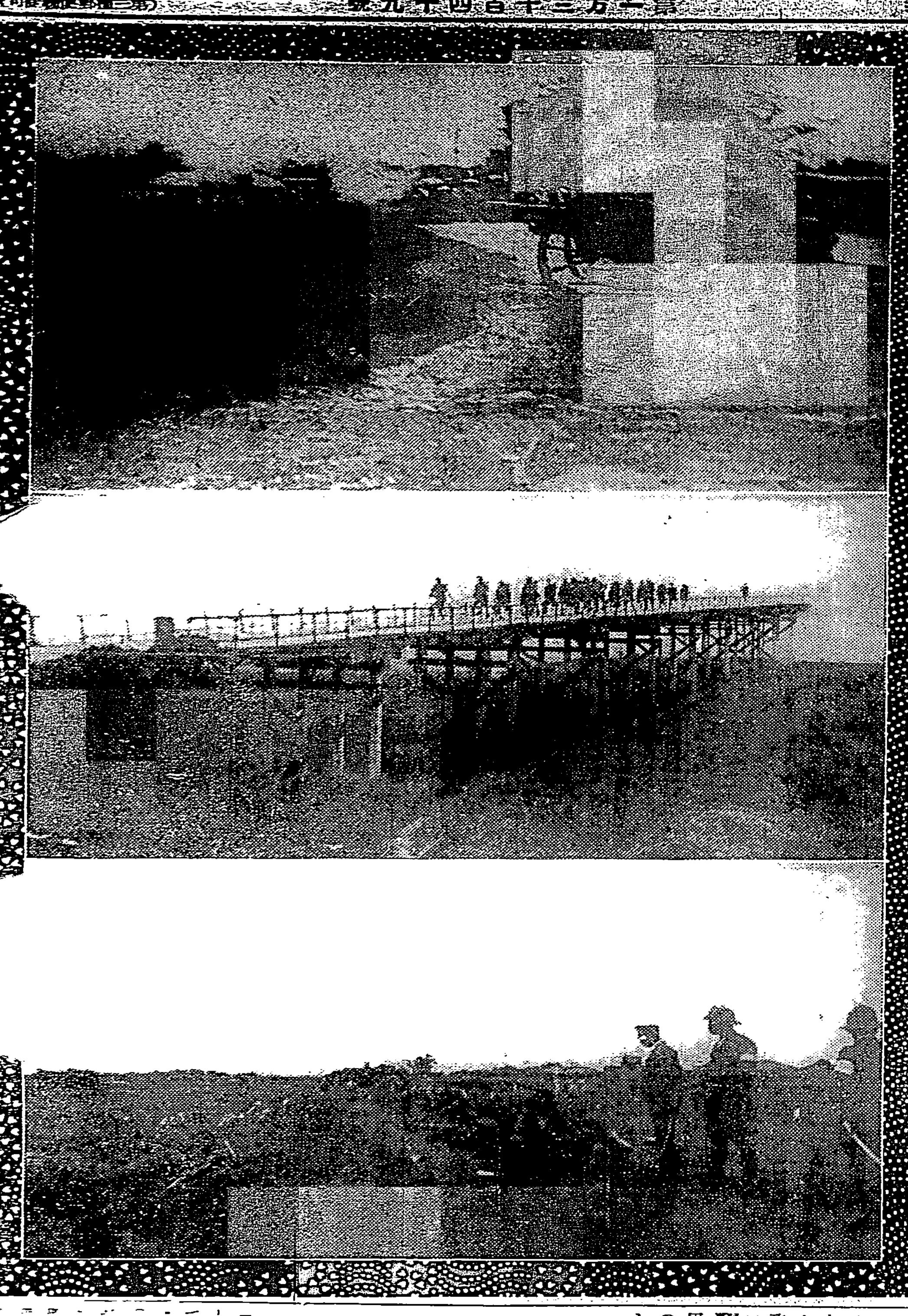
我國民の榮養を研究

[illegible]

[illegible]會議開く

[illegible]

山砲聯隊の野外演習



寫眞上、宜蘭西方台地に放列を布き砲擊中の山砲　中、宜蘭河[illegible]

原保太郎氏逝く

【東京二日發】貴族院勅選議員原保太郎氏は老衰のため赤坂の自邸で靜養中二日午前四時四十分逝去した、享年九十、貴族院における最年長者であつた、同氏の逝去で勅選議員は四名となつた

[illegible]市民の[illegible]に際して[illegible]打合を行つた

▲島内定期航空東線下り便ベハ1機J―BATOは二日午前九時臺北飛行場を出發、乘客は弘中秀夫、村田市藏の兩氏

山西丸より（來航）北の風快晴、三日午前基隆著の豫定（二日[illegible]著無電）

釣

△基隆　沖は一寸時化氣味、岸壁は平鯛がよく釣れ、夜は航路をさけて舟釣りで丸鯛よく餌は友餌がよい

△淡水　潮具合よく後橋、燈臺附近脂ののつた大物のスズキがよく　チヌは小さいが有望、中洲附近はキスが釣れ出した

△山子腳　水澄み居るも魚少く、東風強く脂ものり寸ものびたハヤが水ぬるむあたり飛つくことであらう

△大里　驛前附近白波にのつた尺餘のミツボシが釣れ、テングも釣れる、ミツボシにはまき餌用意のこと

△外澳　一寸波高くテング、チヌ平鯛がよく、餌はエビ、ザコ

△頭圍　川口附近で平鯛、テング、グレが釣れ、潮を利するとボラも釣れる

メガホン

▲電線腐蝕による長時間の停電は會社で如何なる責任を負ふべきや（新屋の被害者）▲元南方澳在住の松原一雄君、補充兵證書を交付する至急現住所知らせ（蘇澳郡兵事係）▲市バス當局よ車掌に釣を持たせて下さい（一圓札）▲龍口町方面の夜半のピアノは止めて下さい（附近住民）▲赤革製婦人持逃口を驛前市バス停留場附近で落した方は南署まで（臺北驛警官詰所）▲白い官服が非常時に適してゐるなど認識不足だ（批判生）

あすの天氣

臺北測候所發表

臺北地方　東の疾風曇後晴
北部　北東の疾風曇一時雨後晴
東部　北東の疾風曇後雨
西部　北の疾風晴
南部　北西の疾風晴

概況（二日）七六七粍の高氣壓は黃海を掩ひ東に移動する模樣本島は西部と恒春が晴他は曇近海は北東の疾風發浪稍高し

潮汐（二日）

	滿潮 前	滿潮 後	干潮 前	干潮 後
基隆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

和洋結髮と御結婚の御支度は是非共市橋美粧園で
基隆市日新町二丁目　電話五九五番
大和町　電話[illegible]
臺中市大正町一丁目四　同　支部

一月二日村岡公介氏死亡に付[illegible]「寫子若林倫次郎」とあるは「寫子若森倫次郎」の誤植にして小林準一氏以下は親戚連名訂正す

會葬御禮
若森倫次郎
親族一同

山砲聯隊の野外演習

寫眞上、官田西方高地に放列を布き砲擊中の山砲　中、官田街から其の西方茄頭山の間に陣地を構築せる假設敵を攻擊、之を敗走せしめたる步兵部隊が官田橋を渡さんとする所　下、官田[illegible]に後退せる[illegible]が追擊に出んとする所

御殿女中（90）

邦枝完二作
神保朋世画

奇、緣（五）

「ふふふ」

「ほほほ」

「へへへ。」

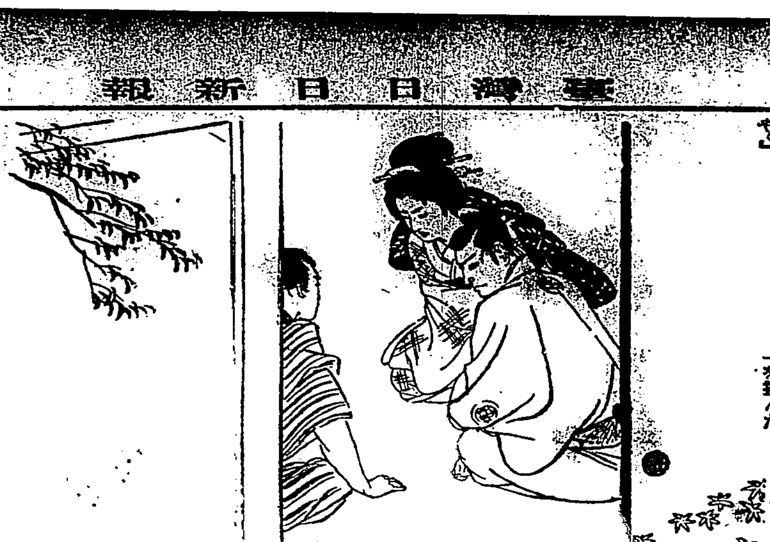
森山、おころ、仙藏の三人は、鷲屋の主人猶兵衛が置いて行つた五十兩の金を中心にして、思ひ思ひの笑ひを洩らしてゐた。

「どうだ仙藏。あとはまたあとのことにして、このうちから五兩だけ取つておけ。」

「へえ有難う存じます。でげすが旦那、五十兩の一割の五兩たア、ちつとばかりお情けなうございますね。」

「贅澤を申すな。五兩といへば大金ではないか。」

「そりやアもう大金にや違えございませんが、何しろ事をすつかり運んだなアあつしでげすからね。その御家本元が一割頂戴で、あとをそつちへ納めちまつたんぢや、ちつとばかり立つ瀨がございませんや。」



「理窟はさうかも知れぬが、しかしわれわれが相談に乘つてやらぬとしたら、五兩はおろか、一分にだつて成りやアしなかつたんぢやねえか。けちな未練は起さずに、五兩だけしまつておけ。」

「へえ。仕方がありやせん。そんならまアお言葉通りにいたしやす。」

仙藏はその五十兩の中から無造作に五兩を取ると、懷中から出した手ン服紗へ捲り込んだ。

「おころ殿。」

「はい。」

「お手前は如何[illegible]」

「さつきも云つた通り、三十[illegible]頂戴しますよ。」

「なに、三十兩[illegible]」

「はい。三十兩は[illegible]ございませんか。」

「しかし、おめへ[illegible]行かれちまつちやア、[illegible]た十五兩だ。[illegible]云ひ分ぢやアねえか。」

「おや、何があんまり[illegible]か三十兩取るたア、[illegible]欲事。それがために忙しい旦那様のお邸を缺いて、こんなにまで骨を折つたんだ[illegible]意の[illegible]てお[illegible]むつちりと[illegible]

小判の上に伸ばしたおころは、手速く二度に三十兩の金を膝の下に搔き寄せた。

「待ちねえ。」

「なんでさ。」

「ちやアからしようぢやねえか。拙者にもう五兩がところ寄來しねえ。さうすりやア二十五兩と二十兩だ。ちつとこつちが少ねえが、そんならまづ辛抱の出來ねえこともねえからの。」

「だつてお前さん。——」

「いいつてことよ。拙者に寄こしとくなア、預けておくやうなもんぢやアねえか。おめへが持つてるよりも、どんなに安心だか知れやアしねえぜ。また要る時にやア、いつでも渡してやらアな。」

「いけないよ。——いけませんよあたしやどうしても、右から左へ用に立てにやアならないお金なんだから。……」

「おつとおころ様」と、仙藏が口を挾んだ。

「森山の旦那はとんだ事かさう揉めるやうなら、こちらへおもらひ申さうぢやアございませんか。」

「三十兩と五兩とおやア、いきなり二十五兩も違ふんだ、たんと損かうたア申しやせんから、もう五兩やつとくんなせえやし」

「いいえ、さうはいかない[illegible]

[illegible]うでもあたしや三十兩のお金がないことにや、遁げないことがあるんだからね。」

「さうでもございませうが、現にあつしが骨を折つたりやこそ、からやつて纏まつた錢がお手に這入つたんぢやございませんか。そのあつしを五兩で追つ拂はふたア、あんまり阿漕きでございませう」

「いや待て」と森山が制した「拙者によい考へがある。」

「へえ、どんなことなんで……」

「もう一度一緒に集めて、くじ引にするのだ。」

當世道樂くらべ（二）

魅力ある南蠻物

さては古和紙の蒐集など

[illegible]

時代裂

[illegible]て來たアにしてある、その他有蓋製と稱へて昔の總服、僧服の布切も裂蒐集者にとつては見逃すことも[illegible]てある[illegible]

[illegible]ふうな伊紙を愛藏してゐるが、これらもやがて何時の時代かには蒐集家の手に含まれることであらう[illegible]

古紙

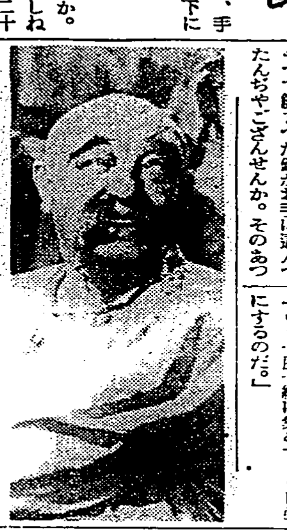
[illegible]分類してゐる人さへあつた[illegible]手觸り、色澤等に種々の[illegible]

隊長ブーリバ

（映畫ものがたり）

（上）

原作　ニコライ・ゴーゴリ
映畫化　グラノフスキイ



露の文豪ゴーゴリの浪漫的半面を表はす典型的作品として特異な位置を占める傑作『タラス・ブーリバ』がロシア生れの鬼才アレキシス・グラノフスキイによつて映畫化された

原作はゴーゴリが、幼時より親しんだドニエプル河一帯の草原と、空と水の風趣に、コザックの民謠小唄を通して知り得た詩的傳說とが鮮やかなロシア的幻想の結合をなして十五世紀ロシア・コザックの情熱的な美しい繪卷をなしたもの、吉江喬松博士激賞の世界的な文學である。

映畫では主役ブーリバに、名優アリー・ボールが扮して豪勇、稚氣、しかも悲壯美に充ちた巧みな性格表現を示してゐる。

二人の息子には、ロージヤ・デユシユンヌとジヤン・ピエール・オウモン、マリナ姫にはダニエル・ダリユウ、コザックの娘にはジヤニーヌ・クリスパンが扮してそれぞれ熱演してゐる。佛蘭西GGプロの超特作である。

その昔、モスクワと波蘭との間に、コサックの住んだ廣大なる土地があつた。慓悍にして自由、奔放にして嚴格なるコサック、定住を厭ひ部隊をなして移り歩くコサック、彼等の唯一の行事は戰爭であり、法律は「勝つべきこと」であつた

ここに彼等の英雄タラス・ブーリバは登場する。物語はこのコサックとブーリバの興味深き行動と魂を描く

半世の武勳赫々たる陣營生活を退いて、自分の農園に隱遁生活を送るコサック老隊長タラス・ブーリバ。然し勃興時代の壯烈なる生活と血の想ひ出は、仲々彼を並々の老人として悠々自適の生活をさせてはゐなかつた。毎日の樂しみは波蘭人の藁人形の首をはね飛ばす事であつた

この父の許へ、キエフから二人の息子が歸つて來た。當時コサックの中でも、富裕なる者はその子弟を學問の府キエフへ送つて勉強させてゐた。今や七尺豐かに成長した長子オスタップと次子アンドレの凛々しい姿に淚の出る程の喜びを感じて迎へ[illegible]の最初の言葉は

「悴ども！ナンダその態は、まるで坊主か、犬が笑ふぞ」

だがオスタップが七年間に一つの讀み書きすら憶えぬことを知つて「それでこそコサックだ」と賞める。ところでアンドレは級中の最優等ときいて娘學者だと云つて嘲笑するアンドレは昂然として父の不禮をなじる。かくして七年振りの父子の對面は豪壯にも愉快なる組打ちに始まり、情深い心からの抱擁によつて次に展開してゆく

×　×

次の日。若い悴を迎へた老ブーリバの血に昔の脈打ちが始まつた矢も楯も耐らず二人の息子を引具してコサックの寨營部落へ乘込んだ。

コサック自由團體は十五世紀の土耳古及び韃靼族の歐洲侵入より祖國なるロシアの大地と彼等の信仰を守護する爲に起つたが次第に強力な勢力を得るに至りやがて波蘭は彼等を抑壓せんとして暴壓の手を延しはじめた。

陣地のコサック達はタラスの出陣を心から迎へ、久振りで頭目を圍んで盛大なる酒宴が始まつた。宴酣、最も勇敢なるコサック團によつて結ばれた戰鬪隊の寨營部落は、俄然壯盛なる士氣を蘇らせた。歸つて來た隊長に各自の報告がされる。なかでも殊に暴政をもつて臨むポーランドの知事ザムニッキイの惡業には、ブーリバ始め一同は興奮してしまつた。かくてその場で波蘭に對する戰ひは布告され、大地は久振りでコサックの蹄の下に蹂躪されることとなつた。——

×　×

時に波蘭知事ザムニッキイの城では娘マリナ姫十八歳の誕生日、みやびなる祝宴の最中、ところへコサック襲來の報が傳はる。然し長い間の平和に馴れ、酒浸りのコサック。馬に乘れる者もないだらう位に高をくくつてゐた。事實は彼等を壓倒せしめるに充分だつた。怒濤の如き槍騎隊は、忽ちのうちに城を包圍して仕舞つ[illegible]はワルソーへの援軍の來るを待つばかり、敗戰に次ぐ敗戰をもつて城內早や糧食はいくばくも無い。

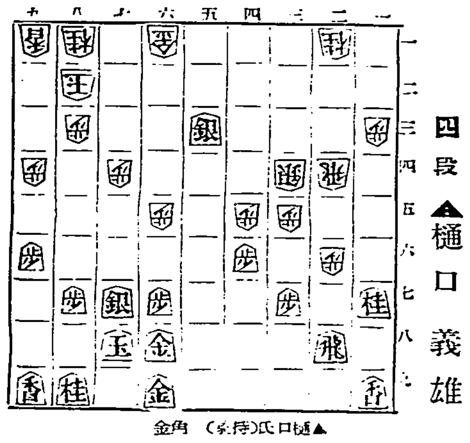
名家敗退將棋（八）

山北氏一回勝二回目

先番　六段　△山北孫三郎
　　　四段　▲樋口義雄

（盤上六八金ヨル迄の局面）

△山北氏持駒　角銀歩歩歩歩歩



▲樋口氏持駒　角金

△五七歩▲五五角△七三銀▲六三銀△二七歩ナル▲七三角ナル△同桂▲六二銀△七二金▲同金△同[illegible]▲六一銀ぐ成△八二玉

△山北六段曰く　五七歩は一七歩と成つては九八飛とふられ[illegible]つ守りが薄いので宜しくないので早く飛廻りを阻止した

▲樋口四段曰く　五五角は敵の五七歩を同銀と取ると全く形が亂れ面白くないので強く攻勢を計つた

△山北六段曰く　二七歩は敵の六二金に對し受駒がないので間に合はないかも知れないが飛を攻めた

▲樋口四段曰く　七三角の切りは無理かも知れないが金駒の受けがないので大丈夫でせう

◇大崎八段講評　山北君の五七歩と打ち敵飛の轉換を阻止するのは止むを得ない、樋口君の五五角は目下は堅くなつてゐるので強く利かすのはよい手であつた山北君の二七歩ナリは何時でも利かせる事が出來るので一先づ七二金と上つて防戰する處であつた、樋口君の七三角切りは敵に金駒の受駒のないのを見切つて申分のない手であつた

笑ひの爆彈

一、或る齒科醫の催促

手紙

奥さま——早速ながら一筆申上げます、去年秋の義齒料金の儀、もし四十八時間以內に御支拂これなき節は、殘念ながら都下に於て最も有力なる新聞を選び、次の如き廣告を掲載するべく豫め貴意を得ておきます

「新品同様の義齒一日も早く讓り渡したし、御用のお方は當市市役所前通り秋野別邸秋野令子まで」

二、職業紹介所珍風景

係員[illegible]を聽いて見ると[illegible]このこうとこの[illegible]この二、三日はとても[illegible]しかし之は[illegible]の身のこに同情して出すのだから、とつておきたま へ[illegible]十錢玉をさし出す

求職者「おかげで助かりました、これさへあればいやなことをしないで濟みますので」

係員「いやなことつて何[illegible]」

求職者「[illegible]」

勞働に

晩方から快晴

北二中のマラソン

[illegible]親族一同

臺日案內

料金　三回　五回　七回　十回　十五回以上　一行[illegible]

內地土產　本島　麻豆の文旦　臺北榮町　電一六五六　桐田商會

樂器　中古樂器賣買　千歳町二ノ六　電呼出三〇六　河合

寫眞　8ミリ　小型映畫時代來る　コダック續々入荷　臺北市榮町　西尾商會

新鋭　カメラ　入荷　特賣　臺北市榮町貳ノ　フタバ寫眞機部

料理屋　大衆向き　宴會大勉強　都通り　電三五〇八　魚文

生そば　壽司　辨金　京町店　電四四〇九番

洋服　洋服と制帽の御用命は　本町二　電三六〇　スミカ洋服店

尖端流行服の御誂は　近江屋洋服店　新起町二ノ四六　電話呼出一八七三　店主梶原晋次郎

藥種商　活性炭　其他釀造用、製糖用、漂白脫色用　臺北兒玉町三南門藥局

金融　電話　商品券　債券　賣買入　築地町一ノ四（電三二八〇）　旭屋支店

商品券　債券　電話　賣買入　臺北郵便局前　電六貳九　大盛證券

電話　商品　債券　賣買入　金融　榮町天地　電三六貳六　合資會社二成社

電器機具

恩給　年金　貸付日步二錢二厘　本人來談仲介謝絕　明石町二ノ一　溫故信用組合

富士電扇部分品　富士モートル　一手販賣　表町　電二三六三　サクラ電氣商會

雜件

値下　更新　アパート　電燈料込月拾圓より　大和莊

各種　コークスと木炭は　西門町竹林商店　電三〇八四番

平戸の摺味噌　風味の[illegible]

アパート　より　新榮莊

メイセン專門　秋冬物各種入荷　表町二ノ一〇　電四〇三七　秩父屋

花環請負　新案意匠　西門市場裏　市場商店　電一九二一番

毛糸專門　新荷揃　臺北京町四　電四三[illegible]六番　東成

建築材料　衛生陶器　タイル　[illegible]會商會

經濟　瓦斯　コークス　[illegible]

年賀状　百枚印刷　六十錢　[illegible]飯野[illegible]

タンス・机鏡臺　[illegible]電話一九二三番

運命鑑定　[illegible]

バイオリン尺八　[illegible]

ハギレ卸　[illegible]

[illegible]合資會社

面膚髮之

ミツワ石鹸

純正雪文、以酒精溶解至透明、因無遊離脂肪、故不溷濁、又因無混雜物、故不見沈留渣滓。再用「フエノールフタレイン」細驗其遊離亞爾加里時、仍毫無反應者、正所謂純正雪文也、我國人皮膚粗澁、皮脂分泌量亦多、尤尚黑漆毛髮之風者、當其洗滌用何雪文、切不可止因化學上謂純正雪文、立斷其適否耳。

◎ミツワ石鹸欲圖品質愈佳不遺餘力日夜沒頭於科學的研究諸技術家主要各位
理學博士　小平[illegible]氏
藥學博士　[illegible]
農學士　河村正[illegible]氏
工學博士　三野[illegible]郎氏
工學士　野中正夫氏

◎ミツワ石鹸

不唯稱謂化學上純正雪文、尙具備有左列諸性狀。

一、確有溫雅芳香。

一、能生出極細泡沫、作用穩和、於洗滌時決不留殘雪文底碎。

一、含有適度溶解性、浸水易解、而無中途溶崩之虞。

實於各家庭、浴室用化粧用、俱合我國人用以洗滌皮膚毛髮等、最宜衛生、眞可節省之理想的實用品也

Mitsuwa Soap
MADE IN JAPAN
ミツワ石鹸

（現品寫眞圖）

◎ミツワ石鹸　有德用大形　三塊匣、六塊匣、一打匣三種

ミツワ白粉
トモヱ石鹸
ミツワ家庭藥
ミツワ煉齒磨
ミツワ椿油
[illegible]

香料・石鹸・香粧品・小間物問屋
東京・兩國　振替口座東京七一〇番
丸見屋商店

藏陸兩省主張懸隔
陸軍尤求全部承認
大藏如何處置實大問題

東京二日電。明年度陸軍豫算。方於陸軍大藏兩事務當局間折衝中。馬場藏相。要望事務當局。十分折衝。只未解決問題。移諸政治的解決。陸軍當局目下說明陸軍豫算之特異之重要。而求其全部承認特該豫算。陸軍最置重者且自十二年度著手。計畫新國防充備。六箇年計畫全部承認。並以每年新規要求之形式。提出滿洲事件費經常費。要求承認。而爲新國防充備計畫實現計。決定要求增加。卽初年度三億圓。二年度以降至六年度各五億圓。十二年度。陸軍所管總額。不過八億餘萬圓。十三年度以降。平約按十億圓。陸軍之意。以爲不可分之計畫。而於明年度豫算分離。以得承認之事。不成意義。必也、以爲繼續事業。而承認其全計畫之事理所當然。大藏省之意。則只欲承認明年度。十三年度以降。別爲諒解事項與之折衝。究兩者見解相當懸隔。總之。陸軍旣斷行單價切下。卽近二割。再編成提出。兵力增減。如無影響。殆無節減之餘地。故就明年度豫算。並六箇年計畫之年度割。力主原案承認。急欲新計畫之立云。

拓相與外地首腦部
且議外地統治原則
以謀內外地統制强化

東京二日電。永田拓相。二日自關西歸京後。擬會其爲外地豫算案、相踵上京相商之大野朝鮮政務總監。森岡臺灣總務長官聽取人事問題。並豫算案之方針等。並就外地統治之根本原則。而自庶政一新。內外統制强化之見地協議數事。當此或傳拓務省廢止說之際。如拓相出此積極的態度。頗堪重視。數事如左。

一、外地統治改善方策之有無。

一、內地間經濟調整策。

一、外地行政機構改革可能之範圍。

一、外地之補給金存廢問題。

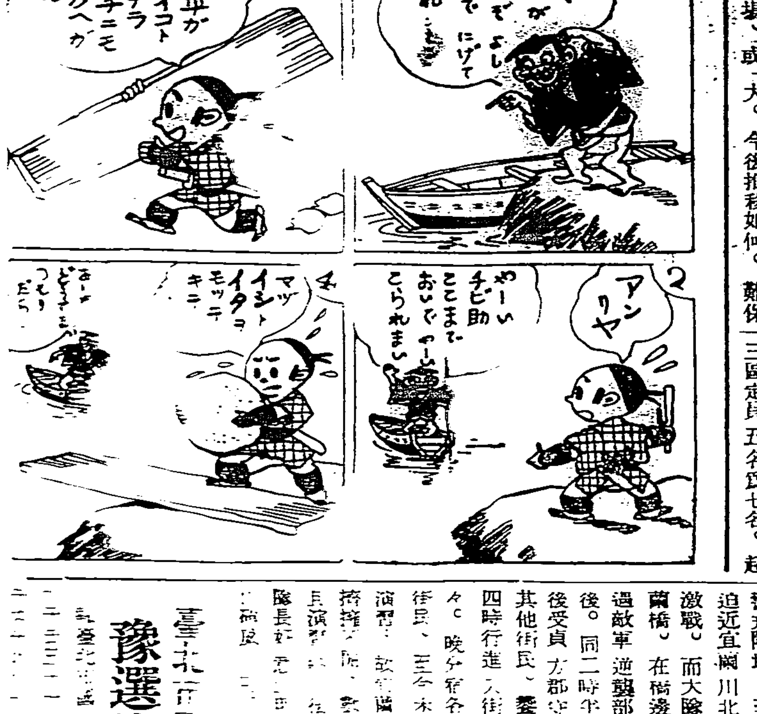
一、外地特別會計之一般會計繰入問題。

一、拓務省機構之改善强化。

政府關議會制改革
恐傷政黨感情
徹底闡明緩和

東京一日電。政府決定解決難題之地方案。稅制改革案。更決定行政機構改革問題之方針。當面只一豫算編成問題。最近所苦慮者。尤在來議會切迫。對政黨關係惡化之事。政民兩黨。均在與黨立場。或不至全出反政府態度。然個々問題。政黨空氣。似難一々聽從。況政府所最憂慮者。關行政機構改革處理方法。而及於議會制度改革問題。感情對立。中有思想的根抵。深刻重大。今後推移如何。難保不生枝節。政府深爲警戒勿論政府之意。必體議會政治尊重民意暢達之主旨而爲檢討。然遂不如所傳陸軍部內之意見。縮少議會機能。否認政黨內閣。惟今後陸軍部內之意見。如何具體表現。致使政黨空氣。一層惡化。激成反感。結果恐累及政府。政府憂慮此點。今後令政黨出身閣僚。或用他法。徹底闡明政府對議會制度改革之眞意。以緩和政黨方面之感情云。

連載漫畫 合作捕物 ヒゲ助とヒゲ平（16） 島田啓三 吉本三平畫


1
おや ふねが あるぞ よし これで にげて やれ
ろ
ヨシ ヒゲ平ガ ヅルイコト スルナラ コッチニモ カンガヘガ アル
アンリャ

世界紡績
棉花消費
二千六百餘萬

華府三十一日電。米國農務省、發表一九三五、六年度。世界紡績棉花消費額。二千六百八十萬俵。比之前年。增加百中之六以上云。

州議立候補屆出
一日全島十五名
自是各地方漸激戰

州議戰第三日之一日。是否爲日曜關係。各州立候補屆出寥少。臺北州二名。新竹州二名。臺中州五名。臺南州七名。計十五名。而屆出最少之高雄州。因人氣爲南部競漕大會所奪竟無一屆出者。如是臺北州第三區。對定員五名。立候補超過二名。新竹州二區。超過一名。同三區定員三名。多至倍額以上之七名。臺中州三區。已達定員之三名。四區定員四名爲九名。五區定員三名。躍爲七名。而四區五區。當爲全島一激戰。臺南州由一日之屆出。漸達定員。此亦應入激戰。又至一日。尚無一屆出之處爲臺北州之四區。新竹州一區。臺南州二區。高雄州一區二區三區。

新竹州一區
無立候補

一日新竹州會議員立候補屆出。第二區桃園街推薦吳又宗氏。第三區大湖庄自立田原千彥氏。而第一區尚無屆出者。第二區對定員三名。超過一名。第三區定員五名爲七名。超過二名。二三區料有陸續立候補。

羅東公石燈籠
本日獻納式

羅東公學校本科第二十四回卒業生。爲畢業十週年記念。對學校內之神社。獻納石燈籠一對。總工費百六十餘圓。自客月興工日前工事告畢。訂本三日午後二時。集街內卒業生及招待重要紳士爲來賓。在神社前。擬嚴肅擧行燈籠獻納式。

森岡長官南巡消息
對移民激勵訓示
是夜一宿壽山館

初巡極南屏東地方之森岡總務長官。帶同須田文書課長。小川運輸課長。由內海高雄州知事嚮導。一日午前九時抵屏東。受官民代表等迎接。轉驅自動車。參拜阿緱神社。植樹紀念。次視察蕃屋。並工藝品製作所。由宗藤市尹說明。繼與盛裝男女蕃人撮影記念。由是訪飛行團飛行聯隊。巡視市役所。病院。臺糖。拜觀瑞竹。午餐後。巡視市內。午後零時五十分。視察屏東郡下振興治水工事。次到武洛煙草移民村。對全移民小學校兒童。有激勵的訓示。繼莅崇蘭臺糖直營農場。視察甘蔗生育狀態。午後三時四十分發屏東。前往高雄。同四時二十四分抵高雄。正午參拜高雄神社後。臨競漕大會場。是夜一宿壽山館。

臺灣山砲兵聯隊
强行軍坪林道路
在宜蘭附近大演習

臺灣山砲兵聯隊第一、二中隊。中島聯隊長外將兵七十六名。馬九十七頭。砲某門。去三十日午前四時半。發臺北屯營。徒步臺北、礁溪間八十一粁五超坪林道路。晚在坪林露營。翌三十一日午前六時發坪林。同下午二時半。自宜蘭郡下無名寺起。開始戰鬪敎練中。同五時抵礁溪。翌一日午前八時。準備完了。與宜蘭第二中隊合流。在枕頭山占領陣地。欲强襲假設敵之農林學校生徒。依縱貫道路南進。占領十六結附近。至四結西方高地。擊退敵軍警戒陣地。至下午一時半迫近宜蘭川北岸。挾兩岸激戰。而大隊强行通過宜蘭橋。在橋邊北門陣地。遇敵軍逆襲部隊。大激戰後。同二時半演習終了。後受貞方郡守。樋口街長。其他街民。饗以菜餅。同四時行進入街路。并武空々。晚分宿各民家。該地街民。至今未見山砲部隊演習。故宜蘭川堤防[illegible]擠擁[illegible]數約一萬[illegible]兵演習[illegible]隊長[illegible]二戰[illegible]砲兵[illegible]

國語演習會之出演者。豫選已決定如次。▲某日（會話）樂園國語講習所二期生吳氏态外一名▲宜溢（談話）大安國語演習所二期生林氏月▲心明（談話）蓮[illegible]期生陳氏[illegible]（談話）宮前國語講習所[illegible]生孫清[illegible]▲日新公學校[illegible]▲永樂公學校[illegible]又青年團及青年講習所出演者。略定[illegible]及龍山青年講習所各一組。

救溺兩學童
榮受表彰

七星郡士林街福德洋字崙街百四十三番地吳木科。年十三。同百二十九番地吳阿財。年十四。兩人於前番川林公學校放課。歸家途中。發見同所十三番地官賜祭。年三。在舊街道路門遊玩中。被其里岸驛發第六五四號之貨物列車撞倒。墜落鐵道邊坤圳內。行將溺死。卽協力跳入水中救起。其功顯著。事由士林分室細查詳明。申請表彰於州知事。去月三十一日下午二時許。在士林分室。有父兄保正立會。由石上警部。交附州知事授與表彰狀。及賞金一封。

臺北市[illegible]

豫選決定

[illegible]

川越張兩氏七次會談前
我外海陸現地諸要人
大會南京講究對策

[illegible]川越張兩氏[illegible]

須磨總領事[illegible]方

傳達有田外相訓
而後商議會談對策

[illegible]

米取改善創設會社
有複雜微妙關係
產組與正米業者對立

東京一日本社特電。米穀取引所改善問題。由農林省米穀配給調整協議會所選拔之學者。產組。反產各代表委員間。愼重研究結局全國米穀取引所二十六處。合爲一體。創設統制會社。以正米買賣爲原則。欲禁止米之投機。卽新統制會社。致重於正米買賣。東京。大阪其他大集散地。特認定淸算取引。漸次防止投機。除去米價變動。從來農林省所執產組中心政策。於茲色彩愈濃厚。新設之日本米穀會社。產業組合勢力必侵入。爲此與舊來正米業者亦必對立。在正米業者之立場先正米市場而及於淸算市場。然新會社業。以救濟後者爲主眼。前者乃入渦中。又新會社設立後。從來東京。大阪正米市場運命如何。生產者。消費者團體。以從來米商以外爲組合員。非組合員亦得買賣。故從來米商商權被奪。正米業者以惟一新會社案須極力檢討。勿誤米政策百年大計。與其置新會社於營利本位。莫若以公益法人形式。得以理想的運用。爲期米價公正。配給機能發揮上。正米市場爲絕對必要。要之。正米市場與產組及農林商工兩省複雜微妙關係。纏綿於各委員間云。

臺中城隍遶境誌盛
行列之長過於前年
審查後發表各等入賞

臺中市城隍遶境。於去三十一日。及十一月一日。兩日擧行。各商團所扮裝藝閣。約四十閣。及北管獅陣詩陣頭。兩日於午後一時。皆在公園取齊。乃拔隊依所定路關。巡遶市街。行列蜿蜒數町。緣天氣晴朗。又値農閑期。遠近來觀者。一日無慮六七萬人。行列所到。惟見萬頭攢動。人山人海。殊形擁擠。警察署警官。總出動。以當交通整理。統觀此回遶境。各商團所飾藝閣數。雖不亞於前年。及大昨年。惟競爭閣之數稍減。又是。本島人經營珠[illegible]武勇躍參加[illegible]餘陣。則[illegible]行列之長。[illegible]迎神氣分[illegible]手等處演戲[illegible]南屯莊[illegible]高結戲[illegible]一夜觀覽[illegible]依審查結果。一日午後五時。在市役所前。授與繡旗賞品其等級如下、優勝。民營自動車團。米商團。料理飲食團、一等甲。甜蜜家庭。精粉[illegible]商團。梅枝町喫茶店團。一等生魚團。和洋雜貨商團。日川雜貨商團。宿屋組合團。獸肉商團。二等自轉車店團。吳服商團。旱溪町團。錦華[illegible]工場。

南部短艇競漕大會
築港團獲得優勝旗
番外有藝妲扒龍船等

第二十八回南部短艇競漕大會。去一日午前八時。在高雄港擧行。其時新岸壁。及苓雅寮間競漕線路沿岸。觀衆數千。定刻參加三十三團入場。由前回優勝團高雄州廳團吉田艇長。奉還優勝旗。同八時半。開始競漕。歸築港團優勝。而番外有驅逐艦對抗競漕。沖繩之刳船競漕壯丁團與藝妓團扒龍船等大博好評。拍手之聲不絕。同五時半。盛況裡散會。又是日有驅逐艦五隻。碇留于岸壁。上空有[illegible]架。祝賀飛行云。

新園許家
生畸形女

屏東郡鹽埔庄新園五五番地。許火炎之妻。許黃氏月桃、去三十日。午後八時。分娩一女兒。額面上突出肉角。三處高約五分而頭後部。消薄爲絕壁。產後家人。一見大驚。嗣後該部落民。傳爲畸形怪物。往觀者。一時擁擠不開。女兒現雖無恙。然據某醫師談。此難育成、一般頗爲注目云。

兩車在橋上衝突
觀競馬客負傷二名

去一日午前十一時。臺中市橘町二丁目十一番地桐原金義。所有中八六七號貨物自動車。載石油十二石。由運轉手平野政彥。年二十九運轉。自臺中向員林運行中。到員林郡大村庄花蓮池九〇番地港尾橋上時。會前面有運轉手張環者。年二十七。操縱北斗郡西北斗陳天發所有中三七一號。載臺中競馬觀客大人四名小人五名之貸切自動車。疾走而來。因制動機故障。不能急停在該橋上。正面衝突。致兩車小破。又乘客西北斗人陳氏席年四十九及謝啓庸年十一。俱頭部顏面、其他數處。負重傷。卽舁入員林長春醫院治療。三島員林郡警部補。隨伴通譯及賴刑事急到現場。實地臨檢云。

草港尾壯丁
行保甲葬
爲出役觸電

鹿港街草港尾壯丁許添財年二十三。爲臺中第三大隊第九中隊。將行軍通過去三十日午前十一時四十分與同伴五人。在草港派出所前。設備歡迎門時。其手中所曳亞鉛線。忽然中斷。絆著附近電力高壓線遂感電死亡。其同伴幸快放手。得免於難。因此管內各保。齊捐出同情金。來與弔慰。更於一日午後二時。在草港尾。爲營保甲葬。會葬者警官尤多。可謂死有餘榮矣。

新竹州刑事課活動
關金塊密輸事件
檢擧嫌疑者約十餘名

新竹州[illegible]刑事課長。去三十一日偕鈴木搜查係長[illegible]數名。赴中壢郡楊梅[illegible]于楊梅分室爲搜查[illegible]得中壢郡警察課[illegible]業者至派出所再[illegible]店及飲食物商。初誤金之[illegible]日禁居。各向地方購買。[illegible]實則不然。查其原因。是[illegible]

僞造四省農銀紙幣
在基隆購布被發覺
大規模製造在福州

[illegible]

懇求。仍然不檢。是以屠殺六十餘頭之豚。不能出市販賣。至十二時頃。獸肉商組合長潘火外組合員十餘名。欲訪問伊東署長以陳情之。然未會見。而不檢印之原因。聞爲場所狹隘。豚之陳列複雜。該巡査爲此生端不檢而歸。不但豚肉不能出市販賣。且屠頭居畜費五圓。計損失三百餘圓云。

宜蘭

歡迎郡守

新任貞方宜蘭郡守歡迎會。去三十日午後六時半起。在宜蘭公會堂。參加官民約四百餘名。發起人代表宜蘭樋口街長致歡迎詞。貞方郡守謝詞。後宴開由佐藤州協三唱萬歲。盡歡裡而散。

郡守巡視

新任宜蘭郡守貞方平一郎氏。爲宜蘭郡管內初回巡視。去三十一日午前九時。由關田庶務課長引導。赴宜蘭街役場。測候所。飛行機場。宜蘭信組。宜蘭市場外各處等。聽取官衙長報告狀況。及以後計畫事業方針其他。

視察團來

虎尾郡農事組合及畜產組合聯合會。主催視察團一行三十五名。於去三十一日午後三時五十三分列車抵宜蘭。由街職員嚮導。視察畜產市場及業佃會等處。後在宜蘭公會堂。受賓再讀氏。招待茶菓。並說明業佃施設概況。夜在宜蘭溫泉一泊。搭翌日午前七時四十五分發列車赴蘇澳云。

赤糖總會

臺北州赤糖協會定期總會。去三十一日午前十時。在宜蘭稅務出張所會議室。監督官秋山所長。並會員二十餘名出席。會長林木火氏。開會致詞。後審議事項。一致贊成通過。正午散會。

海山

郡守披露

[illegible]海山郡守林迺雄氏。[illegible]一日午後五時。假板橋公會堂。招待郡下官民有志二百餘名。開新任披露會。首由林郡守敍禮。次淀川板橋街長道謝。賓主盡歡宴飲。終由山本義信氏擧杯。三唱林郡守萬歲。衆和之而散。

鶯歌

晚稻蟲害

海山郡板橋街晚稻。自插秧以來。發生鐵甲蟲蟲害。雖農民極力驅除。然終無效。而稻葉大半已枯。去年減收三成。農民莫不憂心如焚。徒呼負々也。

尖公運動

旣報海山郡下尖山公學校秋季運動會。去三十一日午前八時起。健兒千餘名。齊集於運動場。國旗揭揚。合唱國歌後。順次演技。極見勇氣。至正午終了。

郡守來鶯

林海山郡守。偕中島屬。於去三十一日午前八時。由樹林驛下車。今澤庄長引導。到庄役場小憩。聽取庄治概況後。視察酒工場。公學校。產倉庫等處。再由樹林驛搭乘。十時二十四分抵鶯歌驛下車。卽臨尖山公學校運動會。自携辨當食事。順途視察鶯歌郵便局。鶯歌庄役場。及其附近情況。乘午後二時三十八分鶯歌驛發列車歸郡云。

桃園

開運動會

桃園街桃園第一公學校。去一日在公設運動場。開秋季大運動會。午前八時燃放煙火起。千餘名男女學童。入場整列。演技至十二時。休憩午餐。午後一時再開。至四時。計演技六十二回。至四時半成績發表。優勝杯並賞品授與後。三唱萬歲。連放煙火而散。

逐鹿消息

新竹州會議員民選立候補。第二區桃園街富家吳亦宗氏。去一日報出。於是桃園郡下。報出者計三名。此去逐鹿戰。應見相當劇烈云。

員林

警官異動

員林郡警官異動。三十一日發表。卽行政係（戶口）勤務巡査加藤善太郎。命社頭警察官吏派出所勤務。直轄勤務巡査江崎榮勝。命行政係（戶口）勤務。新任巡査松崎磯命直轄勤務。大村警察官吏派出所勤務巡査潘孝希。命直轄勤務。直轄勤務巡査江洋溢。命田中警察官吏派出所勤務。田中警察官吏派出所勤務巡査張秋彬。命大村警察官吏派出所。

車要鎖匙

員林郡。爲防止自轉車之盜難。自十一月一日起。新請者。要設鎖匙於車體。又現在郡下一萬七千餘新之自轉車。亦要設備匙全部通達。

國講研究

員林郡。訂來十三日[illegible]招集郡下各國語講習所[illegible]師。及街庄敎化事務擔當者于[illegible]公學校。開國語講習所[illegible]究會。是日午實地授業研究[illegible]及敎品展覽會。

商況（二日）

米況

正米市況前場

[illegible]

期米

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戶期米前場

[illegible]

株式

東京短期取組後合

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

公債

東京國債前場

[illegible]

穀肥

神戶豆粕

[illegible]

砂糖

大阪現物

[illegible]

大阪淸算

[illegible]

絲況

大阪棉絲

[illegible]

大阪棉布

[illegible]

大阪人絹

[illegible]

橫濱生絲

[illegible]

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

編輯兼發行人 佐々木將

發行所 臺北市榮町四丁目卅貳番地 臺灣日日新報社 電話代表番號八〇〇番

公爵 近衛文麿序
服部純雄著
（最新刊）

四六判四二五頁 布裝函入 美本 寫眞八葉挿入 定價一圓八十錢 送料十四錢

乃木將軍

巨星殞ちて二十五星霜 開け！純情熱涙の育英を

本書は一切の架空的概念を廢し、すべて事實を基調とせる乃木將軍の育英精神を萬機に傳へたく努力したものである、平易簡潔を旨とし、一般成人のみならず、青年子女にも理解し易きやう筆を進めたのである。

近衛公の序

余と服部君とは、目白臺に於ける學友である。從つて、服部君の恩師は、復、不肖の恩師である。

余の今日ある、乃木將軍の薰陶と、その感化とに、絶大の光榮を歸せざるを得ない。

服部君は、草深き田園の育英者たる事、拾有七年、恩師の意を體して自立せし、純情の教育者である。

此人にして此著あり、一讀して、そゞろに、青春の熱情を奔騰せしめた。

目次

育英の花 水澤のニュース 就任式 日曜の子供 口答試問 輔仁會大會 田中の手紙 山本の失敗 月下問答 目白臺の一日 實言實行 父兄會 春宵夜話 士規七則 中朝事實 全寮茶話會 [illegible] 片瀨の天幕 [illegible] 運動會
長距離競走 多摩川遠足 村落露營 [illegible] 永訣の言 最後の一響 お通夜 育英の父 目白の秋
育英の寶 剛毅 誠實 忠孝 勇 節 [illegible]
克己 勤勉 謙讓 質實 清潔 總 威 自 雅 國 識 風 將軍寸鐵語 育英至言 中江藤樹先生 追憶 松下村塾訪問記

教育人名大辭典

文學博士 小西重直先生序
日本兒童社會學會々長 尾高豐作先生編

文學博士 小西重直先生 序文の一節 【内容見本進呈】

……教科書中に現れて居る人物……[illegible]

本書の特色

一、現行のあらゆる教科書中に收められた人物を全部網羅してゐること。
二、その傳記が最も精密に、系譜・名號・事蹟に分脊されて詳説されてゐること
三、すべてその根據を信頼するに足る史料から得てゐること。
四、挿畫百數十葉を入れて解明に留意したこと。
五、印刷の鮮明・價格の低廉なるは教育書中の随一。

菊判 六〇〇頁 洋布・函入 定價五圓五十錢 特價四圓五十錢 送料二十二錢

刊行の辭……教育の目的が人格の修養にある……其の修養に應用せらるゝ資材が先賢偉人に俟つ事多きは今更贅言するまでもない。茲に顧る處ある編者は、教育の對照となり得る人物千百有餘名を集大成して、その正確詳密なる傳記辭典を完成した。其は教科上の教材として極めて便宜なるのみならず、子女教育上の資材として極めて重要なる地位を占むるものである。この國の傳記辭典が、國民教育上必須のものであることには、從來の抽象的な教育が實際的な教育に轉換した現代教育界の要望に照して、當然なことと云はねばならない。蓋し、子女教育に携るものは勿論學校家庭に備へて、常に座右に置かるべき辭典である。

東京市神田區駿河臺三ノ十六番地
電話神田三一八九・三一二七
振替東京七三二一八番
刀江書院

大阪商船 臺灣出帆

◎基隆出帆（[illegible]）
門司神戸行 瑞穗丸 十一月六日正午 高千穗丸 十一月十一日正午 蓬萊丸 十一月十六日正午
福州上海行 盛京丸 十一月四日 長沙丸 十一月九日
廈門・汕頭・香港行 廣東丸 十一月八日 香港丸 十一月十五日
福州廈門行 大球丸 十一月十日
鹿兒島、長崎 博多、北館行 河南丸 十一月十七日
大連天津行 △中華丸 十一月十二日
沖繩行 湖北丸 十一月五日
蘇澳、花蓮港 新港、台東行 めなど丸 十一月四日 でりい丸 十一月六日
但シ兩船共新港不寄港
高雄・廈門 比律賓行 江蘇丸 十一月十三日 めきしこ丸 十一月廿五日
但シ江蘇丸は廈門不寄港
西貢盤谷行 いんだす丸 十一月十一日正午
上海經由行△印 畿内丸 十一月八日
タワオ爪哇行（南洋海運）サマラン丸 十一月十一日正午
◎高雄出帆
馬公行 武昌丸（毎奇數日前十時發）
廈門、汕頭 香港、廣東行 福建丸 十一月四日
東京直行 恒春丸 十一月六日 [illegible]東丸 十一月十一日正午
其他船便多數あり臺北電話二八五〇

近海郵船 臺灣基隆出帆

門司神戸行
大和丸 定期檢査ニ付缺航
吉野丸 十一月九日後四時半發
朝日丸 十一月十四日後四時半發
上海内地行
諏訪丸 十一月十日前九時發
大連仁川行
岩手丸 十一月廿二日正午
香港歐洲行
鹿島丸 十一月五日後四時發

辰馬汽船出帆

◎神戸、大阪行
宮殿丸 高雄五日 基隆七日

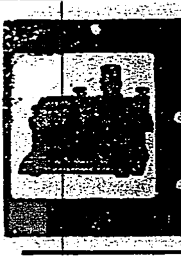
大連汽船 基隆出帆

大連直行
山西丸 十一月九日後五時發
山東丸 十一月十九日後五時發
代理店 丸一組 高雄電話四七 基隆電話八九 臺北電話八八九

星 名刺と挿指印刷所へ

メイシヤマハ
臺北市京町一ノ一九
電話二四七一番
振替二五三二番

送風機排風機及各種耐酸用排塵用排氣機
設計製作專門



大阪送風機製作所

大阪市西成區津守町西二 電話櫻川 三六二五・三七〇一番

は→ 齒痛と頭痛に 神經痛にも 大験

旧効散

キキメの速いが評判の旧効散は よくきくと言つてドコの薬店でも近頃素晴しい賣れ行です。

論より證據一度 おためし下さい

本舗 東京 大阪 森田製藥所（全國の藥店にあり）

廿錢 卅錢 五十錢 一圓 二圓 五圓

◉ 齒痛、頭痛はガオガンに限る ◉

ヤンマーヂーゼルエンヂン

内燃機界ノ霸王

絶對點火紙其他準備操作ヲ要セズ

他機ニ比シ燃料消費量絶對僅少
一時間一馬力當リ一錢強

五十—六十馬力 七十—九十馬力 百—百二十馬力
三—四馬力 五—六馬力 七—八馬力 十—十二馬力
十一—十二馬力 十四—十六馬力 十五—十七馬力 二十—二十二馬力 三十—三十五馬力 四十—四十四馬力

大量製産・在庫豐富

株式會社 山岡發動機臺北支店
臺北市表町二丁目 電話臺北二〇六〇番
工場 大阪市北區茶屋町

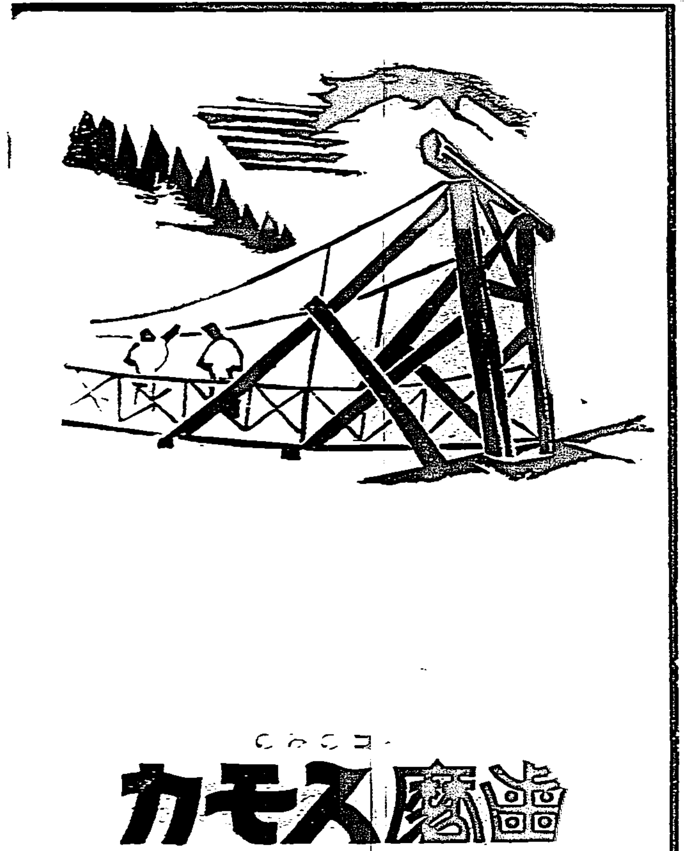
くさ と おできに

シツカロールパスター！

本劑は紫外線照射により高き治療力を賦活したる皮膚新劑にして表皮の新生を促がし分泌を抑制し頑き消毒・消炎・乾燥等の諸作用により速に症状を輕快ならしむ

藥店にあり……定價一圓

東京 和光堂 大阪 SP1



カモス齒磨

[illegible]化粧品藥店にあり定價十五錢 817

EXIHOS
濕布に
エキホス

[illegible]

御注意 [illegible]

發賣元 武田長兵衛商店 塩野義商店
製造元 二巳合名會社 大阪道修町

A—7

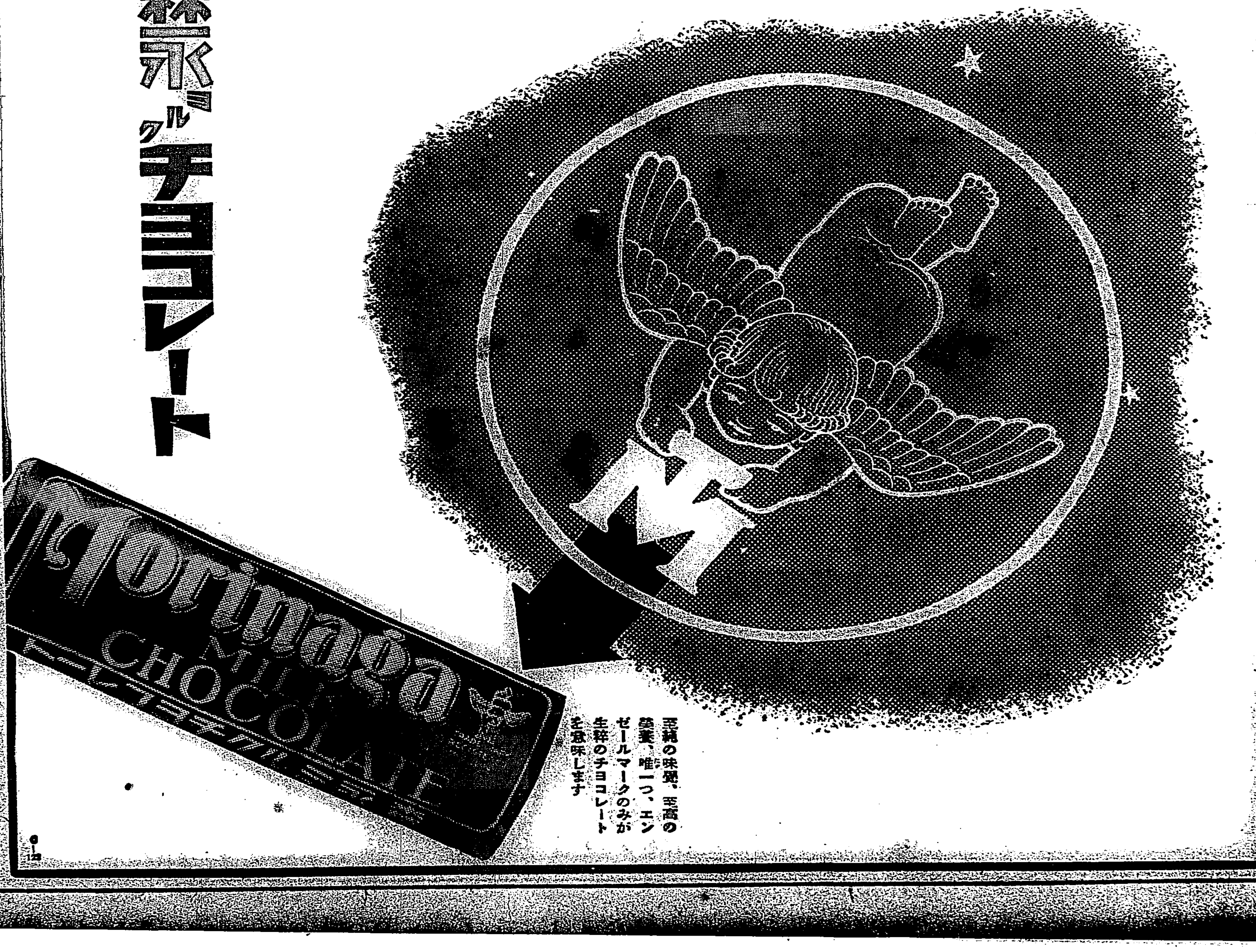
◉ 英數國漢地歷

思索がまとまらぬ 豫定通り進まぬ 覺えにくい ソンナ時にはすぐ

ノーシン

その疲勞は恢復し頭の重さや倦怠や憂鬱は消え失せて勉強が

愉快に進む ●試驗にも好適 ●どこの藥店にもあり ●



このマークこそ最高の象徴（シムボル）！

森永ミルクチヨコレート

至純の味覺、至高の榮養、唯一つ、エンゼルマークのみが生粹のチヨコレートを意味します

父又次郎儀兼而病氣中の處二日午前三時死去致候間此段謹告仕候追而告別式は十一月三日午後四時宜蘭街[illegible]寺に於て相營可申候

男 作本尚
親戚代表 作本初太郎
川上謙太郎
友人代表 西川
辻俊作

文光儀永々病氣の處入院中の處二日午前七時廿分死去致候間此段謹告仕候追而告別式は[illegible]

昭和十一年十一月二日

[illegible] 伊藤[illegible]
入野[illegible]
小坂正文
友人代表 相良鎭太郎

アッパリ開港と日比親善
同港高雄間に航路設定が急

一

今回フイリツピン議會はアッパリを貿易港として開くの案を可決し、あとは大統領の署名を殘すのみと傳へられてゐる。同國の通常議會は先般終了、目下は重要議案が山積して居るといふので臨時議會を開會中であるから、アッパリ開港に署名の事も勢ひ多少後れるであらうと想像される。フイリツピンでは從來開港場でなくとも外國船の費用に於てアメリカ税關吏を同伴するに於ては、島內いづれの港に貨物を出入させても差支ないことになつて居て、中村幹七郎君經營の比島木材會社などはラワン材を同島より輸出する上に多大の便利を享けて居る。

二

之に對し比島政府では今回此の種の港を二十九ケ所に制限するの案を臨時議會に提出中の模樣であるが、かかる制限を設く代りに一の緩和策としてアッパリ開港案を提出し、首尾よく同案が議會を通過したのではないかと想像もされ得る。この邊の經緯は別として兎に角新開港案は日本殊に臺灣に對する比島政府の一の厚意の現はれではないかとも考へられる。アッパリの名は颱風のラヂオファンには夜毎の氣象報告に放送されるので、耳に極めて馴々しいものであるが、それが何れの邊に在つて如何なる港であるかに就ては多く知られて居ない。同港はルソンの北部でバブヤン海峽に面しルソン最大の河川たるカガヤン河の吐口に位する北ルソンの主要港で、我が高雄とは三百三十哩の距離に在り、カガヤン河の貫流するカガヤン、イサベラ兩州の豐沃なる流域の農產物はこの河の船運に依てアッパリ港に出て居る。アッパリ港の奧地たる右兩州は面積合せて約三百萬ヘクタール、其內農耕地約二百十萬ヘクタール、人口約三十八萬を有し、主要產物額は昭和九年に於て米が約三百三十萬ペソ、煙草が約百二十五萬ペソ等で外に玉蜀黍、甘蔗、青果物等を產し、またイサベラ州の南部には豐富なる鐵山もあるといふ。

三

港內の水深は大したものではないけれども船舶の碇泊地に於て四萬乃至五千噸もあり、島內各地に對しては一週數回の船便もあるといふ。此の地が一旦開かれた曉、我が內地貿易業者に取つては命令航路が同港に寄港することとならぬ限り、又臺灣の貿易業者に取つてもアッパリ定期航路が開かれぬ限りは大して意味を爲さない。何となれば內地商品は恐くマニラ、セブ、ダバオ等に直輸出されるからである。併し乍ら臺灣の商品殊に包種茶方面の製品又は內地仲繼品等をば、比島內に於ても生產と消費が割合に旺盛として知らるるカガヤン河流域の奧地に輸出するに於ては、相當の消化力あるものと見られるので我が督府當局に於て高雄アッパリ間又は基隆アッパリ間に命令航路を設定することになれば、臺灣產品延いては內地[illegible]產品の好市場を其の奧地に[illegible]得ることと考へられる。[illegible]は同港並びにカガヤン、イサベラ兩州奧地方面の[illegible]調查[illegible]充分[illegible]は命令航路の設定と[illegible]來ねばならぬ[illegible]となつた曉には綿密なる調査を爲し、出來得るならば定期航路を開くやう十二分の考慮を乞ひたいと思ふのである。

四

言ふ迄もなくルソンは臺灣とはバシー海峽を隔てて所謂一衣帶水の間に在り、殊に高雄とは最も近距離に在る關係上、若しアッパリを通じ兩國貿易の進展が大に期待され得るならば、殊に十年後にはアメリカより獨立する順序に在るフイリツピンと日本との親善關係が一層緊密化し得べく、兩國國交上に貢獻するところ決して少なくはあるまいと思はれる。殊に又た我が南方國策實現の上より新興高雄の地位に多大の重要性を增大し來れる今日、向ふ河岸の北ルソンに新開港の出現を見ることは、偶然とは言ひながら高雄の繁榮に更に新たなる一要素を添加するものであり、而して高雄の繁榮は取りも直さず臺灣の繁榮を意味するものであつて、高雄市民が此の報を得て狂喜して居るといふのも當然のことと言ひ得よう。この意味に於て吾人は重ねて我が遞信部當局に向つて徐ろに考慮を下し、比島政府の好意の在るところに答ふるところあらんことが望ましく思ふものである。

共產軍を消滅し全軍民團結せよ
統一完成し、民族の前途は光明
記念週にて蔣介石氏演說

【上海二日發同盟】蔣介石氏は一日洛陽の軍官學校分校の記念週に出席し「國家の現勢と前途」といふ題下に大要次の如き演說を試みた、蔣氏最近の心境を示すものとして注目されてゐる

最近の統一完成は國家の劃期的進步を示すもので中國の今後には確乎たる持久策があり民族には光明の前途がある全國の軍民は固き自信を以て前途を樂觀し且つ奮鬪すべきである、個人も國家も其の成敗興亡は全く持久自立し得るや否やにかかつてゐる我が同胞同志が各人自強して息まざれば國家の復興は必らず期して待つべきものがある今日民族の復興を計らんと欲せば國家に危害を與へる奸漢殊に知識あり組織ある奸漢の集團を[illegible]して消滅すべきであり共產軍の如きは其の最も甚しきものである最後に國家興隆の大道は目前に在り全國軍民精神を鞏固にして團結一致し救國の自由[illegible]

共匪甘肅に蟠居
抗日人民戰線を結成し
國民黨に提携を申込む

【上海二日發同盟】信ずべき筋への情報に依れば甘肅省で合流した朱德、毛澤東、徐向前、賀龍、蕭克等の共產軍は同省內北部一帶に蟠居して恒久的地盤を形成せんとして居り最近國民政府に對し全支那を一丸とする抗日人民戰線を結成する爲共產黨と國民黨の提携統一を申入れ若し國民政府が、これを承諾すればソヴエット地區解消も辭せずとの態度を表明した事が判明した、國民政府は中央常務會議で右申入れを議題とし親ソ抗日の巨頭馮玉祥は此提議の受諾を主張し孫科、于右任等の親ソ分子もこれを支持したが會議出席者の過半數の贊成を得るに至らずとの口[illegible]

對日戰備につき指示を與ふ
蔣が閻、張、傅らに

【上海二日發同盟】洛陽に集まつた閻錫山、張學良、傅作義等は蔣介石より對日戰線を最後的防禦線とする對日戰備其他に就き重要指示を受け一日夫々歸還した、而將、閻錫山、張學良の三巨頭の顏合せは近來稀有のことだけに會談の重要性が觀られ、特に傅作義の綏遠方面の軍事情勢報告で重要對策を決定したことが判つた、卽ち今後綏遠問題に關し中央地方の軍事連絡を緊密にするとともに從來の消極方針を一擲し攻勢防禦の積極方針に轉換すべく同會議決定事項の第一表現は最近に現はるべしと見られ今後の推移は重視されてゐる

臨時閣議
教學刷新の答申案可決

【東京二日發】臨時閣議は二日午後一時四十分より首相官邸にて開會、永野海相、小川商相を除く岡田首相以下全閣僚出席、先づ平生文相より教學刷新特別委員會の答申案を可決決定したので文部省としては其綜合・慎重に依つて各事項を實施する方針なる旨を述べ各答申案の內容を左の如く報告し各關係の諒解を求め二時二十分散會

◇答申案內容

一、教學刷新に關する中心機關の設置

二、實施上の方針

三、これに必要なる實施事項

四、教學刷新に關する會議、人事再教育

◇建議案

斯る事項を實施するために諮問機關の設置を必要とする

阿片令一部改正

【東京二日發】二日の臨時閣議において左の事項を決定した

一、臺灣阿片令中改正の件（律令案）

李思浩氏が指示を仰ぐ
參謀總長、財政部長を訪ねて

【上海二日發同盟】冀察經濟委員長李思浩氏は上海滯在中の財政部鄭琳氏及び參謀總長程潛氏を訪問し北支の情勢並に冀察政權の財政狀態の報告に併せて指示を仰いだ、李氏は更に財政部長孔祥熙氏を訪問同樣諒解を求め指示を仰いだ後北上する豫定であると

比島特別議會と日本關係法案
產業保護が目立つ

【東京二日發】二日在マニラ內山總領事より外務省へ入電に依れば三十日閉會した比島特別議會を通過した法案九十餘件の中日本と關係あるものは左の通りである

一、名古屋博覽會參加

一、アッパリ及びホセ、パンガシナン（舊名マンブラオ）開港

一、大統領に對し米比通商協定の締限を附與し且[illegible]會議[illegible]する案

一、國立興業會社改組案

一、國立特產物取引所設立[illegible]

一、[illegible]出貝類檢查法案

等である、右國立興業會社改組案は比島人小資商保護の爲織物販賣會社を設け比島人にのみ販賣せしめんとするものであり又[illegible]輸出[illegible]再輸入されるものが[illegible]國內產業保護の見地より[illegible]輸出の場合には漁業關係官廳の檢查證を受け提出人は右檢查手數料として從價一割を支拂ふものである、[illegible]人登錄案、外國人使用制限案、外國人公吏制限、魚類罐詰等の輸入禁止等本邦關係の重要法案は今回は通過を見るに至らなかつた

全島八市の市議に呼びかく
年に一回懇話會開催案
臺北市議月例會で可決

臺北市議から成る月例會では二日市役所で十一月例會を開き、豫ねて前回からの懸案であり起草されてゐた全島市會議員懇話會案を倉岡參助氏座長の下に審議したが、字句の修正をなした上可決、直に之を臺北市を除く全島八市の市會議員に呼びかける事に決したが、同會は各市共通の問題を調査審議するに在り、各市より三名以上の市議の出席を得て年一回各市に於て交代に總會を開くといふ案である、此提案が八市の贊成を得れば右の第一回總會は百餘萬圓を投じ年內に竣功する臺北公會堂に於て明年匆々開會する運びに至るであらうと

憲政擁護につき鐵相、農相と懇談
安藤政友會幹事長が歷訪して

【東京二日發】安藤政友會幹事長は二日午後零時四十五分鐵道省に前田鐵相を訪問、行政機構問題就中議會制度改革に就き立憲政治の確立完備は我國政治發展の爲め必須緊要のことである、然るに一部に於て[illegible]ことにつき[illegible]旨を述べ[illegible]憲法擁護のため斷然として之に當らねばならぬ[illegible]へたるに對し鐵相は議會政治否認の言說の如きは全く問題外の議論であつて自分は閣內に在つて憲政擁護の第一線を死守する覺悟である旨を答へ安藤幹事長は午後一時辭去したが、同三時半更に農相官邸に島田農相と會見し同樣憲政擁護問題に關し懇談した

郵便貯金增加

【東京二日發】十月中に於ける郵便預金は預入人員十六萬一千八百四人、預金額一千八百二十九萬六千四百九十八圓を增加しその結果月末現在高預人員四千七百六十八萬六千六百六十七人、預金額三十三億七千四百八十四萬百六十三圓となつた、斯く預金額增加の主たる原因は郡部を通じ一般に景氣稍良好に因るものと觀らる

內府、侍從長と重要協議
首相が奏上の後

【東京二日發】岡田首相は杉山大將の親任式侍立後午前十時四十分天皇陛下に拜謁仰付けられ一般政務を奏上種々御下問に奉答して退下、更に別室で湯淺內府鈴木侍從長とも會見重要協議を遂げ[illegible]

泊新交通局總長は七日神戸を出帆

【東京二日發本社支局特電】泊新交通局總長は本日上野驛發列車で鄉里石川に向つたが、來る五、六日頃大阪に出で挨拶廻りをなし七日神戸より乘船赴任する

臺北市文書課長
臺中州へ轉出

臺北市文書課長本田武二氏は二日臺中州文書課長に榮轉し二日午前九時五分臺北驛發急行にて赴任する後任は[illegible]となつた

重要會議を行ふ
三省の出先首腦が交涉大詰めを前に

【南京二日發同盟】九月十四日以來九十餘日を閱した南京[illegible]談最後の大詰に近づき喜多陸[illegible]佐藤海軍南武官も一日午前七時上海より來京したので午前十時大使官邸に於いて川越大使、若杉參事官、須磨、田尻南京記官、喜多、佐藤兩少將に雨宮、中原陸海兩武官を加へた現地外務、陸海軍首腦會議を開き、須磨總領事の攜行せる新訓令に基づき今後の交涉具體案につき重要打合せを爲した、而して我方としては事態の重大性に鑑み飽く迄愼重を期し今後も會議を續行した上川越、張兩氏第七次會談は明[illegible]四日[illegible]となる模樣である

立候補者七十九名に達す
總定員を突破

[illegible]時までに總督府地方課に[illegible]州市會議員立候補者は左の如く臺北四區を筆頭に臺中三區、新竹二區、臺北三區、臺中[illegible]區が無競爭狀態で總數二十一區中定員に達せざるもの九區、總定員七十六名に對し立候補者七十九名を算してゐる

第二區	四〇六	三	一
第四區	一四四	三	一
△新竹 第一區	二八	三	[illegible]
二	一九〇	三	五
三	三八二	五	九
△臺中州 一	二八	三	三
二	二八	三	一
三	三一四	三	四
四	三四六	四	一
五	一五六	三	七
△臺南 第一區	三三	四	二
二	一八	三	[illegible]
三	[illegible]	四	六
四	三一四	四	四
五	二五〇	三	四
第一區	二	三	[illegible]
二	二四	三	四
三	六	四	四
四	二四六	三	三

立候補者
（二日午後四時現在）

△臺北州

第[illegible]區 新莊郡五股庄五股坑字冷水坑八番地農業 陳國鏗（[illegible]）

△新竹州

[illegible] 新竹郡新埔庄[illegible]

△臺中州

[illegible]

△臺南州

[illegible]

二日初の一候補

[illegible]

コパンを忘れた南洋
5

亡命の已むなきに至り新興勢力は一時鋭鋒を挫しかれたかに見えたこの機に乘じた英國の策動は一段と飛躍的となりこれに踊らされるビヤマノー首相の秕政續出した、卽ち折角踏み出した立憲政治を三族專制政治に逆轉せしめんとした[illegible]

◇

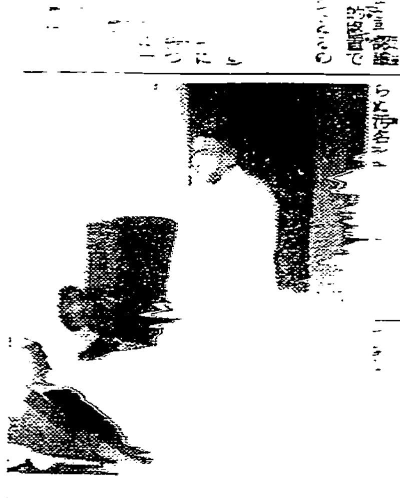
[illegible]

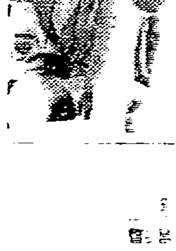
◇

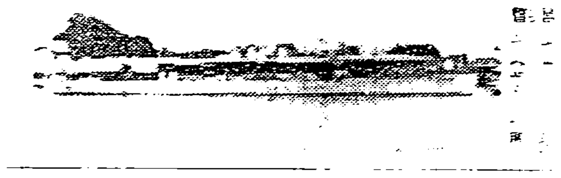
[illegible]

烈々と燃立つ暹羅興國の意氣
白人勢力と鬪ふ

上田 宣







[illegible]

米賣却好成績

【東京二日發】十月二十七日農林省發表の政府所有米五十萬石の買換へは二日其の賣却を決定したが成績は四十一萬石卽ち八割二分に達し前一回に比し好成績を收めた

蘭印から視察に

蘭領東印度政府東亞事務局[illegible]長エル・カムペル氏は三日瑞穗丸にて來臺約一週間に亙り島內の社會及經濟事情を視察の筈

麥實收高

【東京二日發】二日農林省發表の全國米麥實收高は左の如し（[illegible]）

- 大麥 七、[illegible]
- 裸麥 五、[illegible]
- 小麥 [illegible]
- 合計 二二、[illegible]

村瀨機關長轉任

【東京二日發】海軍辭令（二日）

馬公防備隊機關長兼部隊長 機關少佐 村瀨 孝一

吳鎭守府附仰付らる

公告

當會社ハ昭和拾年拾月貳拾七日株主總會ノ決議ニヨリ昭和拾年拾月參拾壹日限リ解散仕候ニ付當會社ニ對シ債權ヲ有セラルル方ハ本公告ノ日ヨリ向フ二ケ月以內ニ御申出相成度此段公告候也若シ右期間內ニ御申出無キトキハ清算ヨリ除外可致候

昭和拾年拾壹月參日

基隆市壽町貳丁目拾九番地

株式會社 雲泉商會

清算人 顏國年

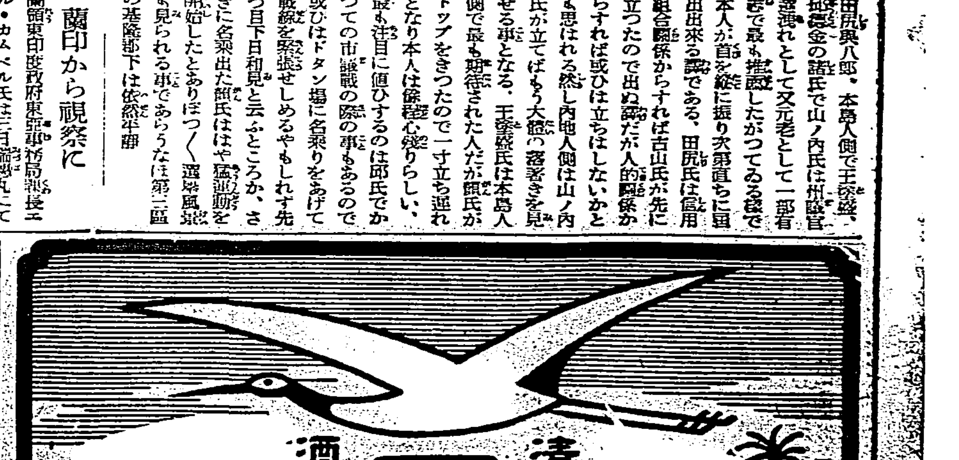
當院改造中院主內地旅行休院致居候處改造終了ト同時歸院仕リ候ニ付本日ヨリ從前通リ診療ニ從事可仕候

產科
婦人科

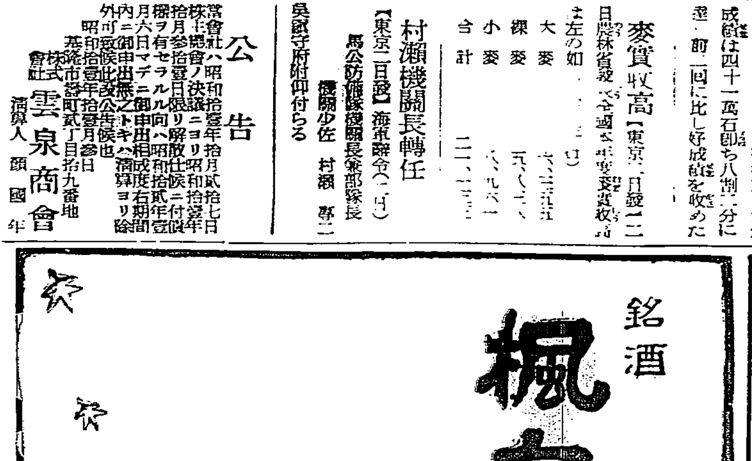
臺北市京町三丁目（賀通り）

鶴田醫院

（入院隨意）電話二一九七番自宅電話四七四七番



清酒
ハクツル
白鶴
合名近藤商會台南



[illegible]皆樣方の[illegible]御酒が御居け出來るやうに[illegible]菊正宗は皆樣方の酒味賞翫の[illegible]が增加し此頃では基隆や高雄[illegible]皆樣方の[illegible]近來は何れの小[illegible]經過せぬ最も新鮮な[illegible]

菊正宗

[illegible]

菊正宗

[illegible]屋[illegible]

增收と粘りの強い 陸稻糯新品種現る

農林糯一號の試作成績判明

來年から內地に栽培普及

農林省では、陸稻糯の優良新品種を育成するため、昭和四年度から全國を五區に分け、各區每に一地方農事試驗場を指定し、經費の全額を交付して、農林省農事試驗場に於て

人工交配

をなし雜種初期世代の養成を行つた有望種を配布、地方試驗場で地方的適應性の鑑定を行はせ、種の固定を圖りつゝ在るが、右の內三重縣農試の育成に係るものを「陸稻農林糯一號」と命名、愈々これが栽培普及に乘り出すこととなつた、右の「陸稻農林糯一號」は、中生種で稈中位、分蘗稍多く、倒伏少く、耐旱性及稻熱病に對する抵抗性强く、玄米は中粒稍圓で收量多く、品質も良好と云ふ申し分ない

新品種で

ある、而して、普通肥料栽培に於ける收量を見ると、昭和八年から十年迄の三ヶ年平均で左表の如く在來種に比して三割の增收成績を示してゐる

品種名	普通栽培 收量	比率	多肥栽培 收量	比率
農林一號	一、二六石	一三七%	一、三一石	一三〇%
國子糯	〇、九二	一〇〇	〇、九五	一〇〇
尾張糯	〇、九五	一〇四	ー	ー

次に擣精步合は、從來の國子糯が一〇・五%、尾張糯が一一・四%であるのに農林糯一號は九・八%と云ふ好成績である、又食味は、在來種に比して、食味、色澤、粘力共に優れ、水に對する比粘度は二四三%で、國子糯の一七三、尾張糯の一七六に比し遙かに優れ、水稻平和糯二七七に接近してゐることは

陸稻糯の

飛躍として注目されてゐる、いま適作地方の在來種と比較した增收率、米質を見ると次の如くである

縣別	收量	增收率	品質
三重	二、三〇石	三三%	中ノ上
靜岡	二、六四	二五	上ノ下
愛知	一、七七	一四〇	中ノ中
和歌山	一、六五	二八	中ノ上
滋賀	一、六〇	三〇〇	中ノ中
岐阜	二、〇一	一九	上ノ中
京都	一、〇六	三五	上
大阪	一、一〇	二〇	上ノ下
奈良	一、三三	一五	中ノ上
千葉	二、〇四	二〇	上ノ下

即ち、以上の諸府縣に於ける

試作成績

では、在來の陸稻糯品種に比して、滋賀（坂田郡）の三倍を最高とし、最低大阪の二割增收と云ふ好成績を示してゐる、米質に於ても、在來の品種に比して改良の跡著しく、糯米の需要多い中部日本に取つては得難き餅原料となるわけである、尙農林省に於ては、右適作地方の採種圃に本年度配布をなし、これが採種を行はせたので、この新品種がいよ〱栽培農家の手に配布されるのは、明年度からと決定した

政府が研究中の 鹽專賣制度改善案

工業鹽は極力需給改善に努力

食用鹽は百キロ一圓方値下計畫

【東京發航空便】大藏省專賣局では馬場藏相の財政改革に基づき鹽專賣制度全般に亙つて再檢討を行つてゐるが價格の値上、アルコール及び樟腦の專賣制度等と併せて國民經濟生活並に國際貿易及び國防上重大な關係のある食料鹽及び工業鹽の專賣制度改善について最近左の如く方針を決定し明年度より着々これが實現を圖ることとなつた

一、工業鹽の需給改善　二十八日より三十日まで中央會議所に開催された內外地稅務官協議會は工業鹽の需給方法について五ヶ年計畫を決定したが之に依れば現在我が工業鹽の大部分を占めてゐるアフリカ、スペイン、アメリカ鹽等に代つて現在四割七分方を供給してゐるに過ぎない滿洲國、北支、關東州產鹽より將來は七、八割方まで供給を增加すると見込んで日滿支經濟ブロック建設工作の一端たらしめ更に之が可及的弁法としても貿易調整の見地より出來る限り我が商品の輸出先たるチリーその他南米諸國よりの輸入を圖ること、尙十一年度の輸入豫想額は十三億キロ［illegible］である

一、食料鹽の値下　國民の生活殊に我が國民の消費經濟上最も關係の深い食料鹽は內地の供給だけで十分であるが之が市價の低下を圖ることは極めて緊要であるから明年度以降八ヶ年計畫を以て現在の政府賣渡價格を八年間に百キロ當り一圓方値下すべく（現在一等五圓四十錢）機械鹽の普及に依つて生產費の低下を圖る事、而して明年度の賣渡價格は十二［illegible］決定の豫定で［illegible］

高雄州下二期蓬萊

品質色澤共に頗る良好

【高雄電話】高雄州下の二期蓬萊米は二日高雄屛東兩檢查所管內から初出廻りあり、同日高雄に於て百六十七袋屛東に於て千七百四十六袋の初檢查を實施したが、天候關係に惠まれ品質色澤共に頗る良好にて其の等級は

屛東の部

等級	袋數
三等	千四十五袋
四等	六百三袋
五等	九十一袋
等外	十七袋

の好況であるが、高雄の部も之に劣らぬ良好な成績を示し昨年の初檢查に比すれば十二日間早く出廻り、右檢查米は近日中高雄出帆の便船にて初出荷する事になつた尙出廻旺盛期に入るは十一月中旬頃と見られてゐる

の初檢查を行ひ內三等三十二袋、四等百三十五袋、五等十八袋の內三、四等は加藤が買付けた、翌三十一日の檢查高は上揭の如く八百［illegible］である

四十一袋と激增したが、高雄州下の蓬萊米も最近漸く出廻り始め二日は屛東で約二千袋の初檢查が行はれた筈、因に二期蓬萊米の基隆在庫は二日朝現在二千二百五袋に過ぎないが、高雄の在庫は二萬二百一袋と休日前に比し一萬五千六百袋の激增を來した、一兩日中には三萬袋以上に達する見込である

屛東の二期蓬萊出廻り

【屛東電話】屛東地方に於ける二期蓬萊米は本月始から出廻つたが二日屛東檢米所取扱の檢米高は四百八十袋に上り品質頗る良好である

秋茶の終末期遲る

平均値は大正十四年に匹敵

臺茶の取引改善を目的とする臺灣茶共同販賣所の事業は生產者並に大稻埕の茶商の理解が行屆き殊に本年は紅茶の製造旺盛で既報の如く委託茶は同所創立以來の新記錄を作り四百萬斤を一兩月中に突破することとなつた、即ち十月二十九日現在に於ける委託茶到着累計は三百九十七萬七千五百九十四斤で過去の最高委託高たる昭和九年度の三百七十五萬五千二百十二斤に比し約二十五萬斤を增加してゐる、秋茶は過日來冷氣が早く到來したので既に終末期に入つたものと觀られ、茶價の好況期に秋茶を終るのは惜しいと農民は只管天候回復を祈つてゐたが一、二日前から溫暖な天候が續いてゐるので茶芽は天候に促進されて再び伸びはじめ農民は喜んで摘採に從事してゐる狀態であるから天候さへ續けばアト一、二回の製造が出來るであらうと期待されてゐる、從つて臺灣茶共同販賣所に對する委託茶も增加する見込みで或は四百十萬斤乃至四百二十萬斤程に達するものではあるまいかとみられてゐる、尙粗製茶百斤當り平均單價は四十圓七十七錢で昨年の三十四圓七十八錢に比し約十圓二割方の高値に當り過去の最高値たる大正十四年の四十圓九十錢に比すれば僅々十三錢の安値で山方生產者の鼻息が荒いのも無理ではないと云はれてゐる

無水酒精の賣價は

ガソリンの市價と同じ

缺損は他の益金で補ふ

【東京特信】無水酒精の專賣については目下專賣局に於て鋭意研究中であるが大體一ガロンのコストは七十錢と決定したので目下これが販賣價格について調査を進めてゐる、即ち無水酒精はガソリンに强制混入をさせるものであるからガソリン市價と開きがあつては何等の效果がないので目下のガソリンの市價（現在五十一錢に消費稅五錢、關稅改正による賦課五錢と今後豫想される資上稅を加味したもの）大體六十五錢程度と見てこれと同等にし、コストとの開き約五錢の缺損は燒酎等の結果造石稅が廢止され、これが益金となつて來るので、それをもつて補塡する方針である、尙無水酒精は各石油會社に於て係官立會の上混入させる害であるが、無水酒精の混入をさけるものも豫想されるのでこれ等に對しては嚴重な罰則を設ける害である、右につき專賣局經理部長は語る

一、無水酒精の原價は原料價格によつて決定するので目下原料の安い地方を調査してゐる、農林省の統計では大體七錢見當であるからこれをそのまま使用すると一ガロン七十錢になるが、若し六錢とすれば五十六錢となるので出來るだけ安い原料を使ひ度いと思ふ、販賣價格はガソリンと同等にし、石油會社に購入させ混入させる害である、コスト七十錢としてもガソリン市價は大體六十五錢見當になるものと思ふから酒精も六十五錢見當で賣り、その差額の缺損は燒酎等の益金で補塡して行かねば燃料問題の解決にはなるまいと思ふ、燒酎の販賣價格は現在のまま据置く考へだが、それにしても造石稅が廢止され、それがそのまま益金となつて現はれて來るので補塡も出來ると思ふ、しかしこれは永久にと云ふわけではなく、將來は立派に無水酒精でも益金をあげ［illegible］

東西南北

▲砂糖消費稅改正の用務を帶びて內地に出張した特產課の土井技師は序に令孃をも內地へ同道してさる方面に緣づかせたが、目に入れても痛くない長女を手離してサゾ淋しい思ひをしたことだらうと同情すれば、イヤ當座のみはちよつと淋しかつたがその後は何ともない▲さすがに婿殿の噂だけは「嫁がせて今宵さびしく早寐かな」の感が深かつた唯それだけだ、と强がりをいつてゐるが其實いまだに淋しさう▲土井技師は督府を代表して今次の砂糖稅制改正には隨分努力した模樣である、例へば第二種と第四種の稅差一圓七十五錢は當局の希望通り決定されたが內地製糖業者側では一圓九十錢となつてゐたらしく、之で行くとチットも有利に導き得たのだが色々折衝した結果步み寄つて右の稅差に決定を見たとのこと▲臺灣製糖の取締役草鹿砥祐吉氏が過日の總會で勇退したが、氏は東大工科を出て直ぐ創立間もなき臺灣製糖に入り橋子頭、後壁林の各製糖所を經て技師長に進み取締役となつて前後卅六年の久しきに亙り同社の發展に努力貢獻した大功勞者である▲一面文藝、詩歌、書畫等にも趣味を持つた風流人であり、而も淡泊な人であつた、厚る友情に富み人の世話をするなど美點も多かつた、南北子は氏の健康と幸福を祈つて已まない▲森永製菓が取引關係の深い臺灣製糖に合併するかの如く噂されたが、アレは全然デマである、森永は臺灣製糖と半額宛出資して食品工業を設立したが、これと森永製菓煉乳とは全然別な使命を持つ會社で臺糖に合併される害もない▲森永は臺糖ばかりでなく日糖からも鹽糖からも砂糖を買つてゐる製糖會社に取つても森永は好得意先だから合併の噂は甚だ迷惑だと云つてゐる▲本年四月四日に愛兒淸一君を信州白馬山のスキー場で亡くした三井池田支店長は永く之を記念すると共にスキー同好者の遭難防止の爲に默認ヒュッテ附近の村有地を借受け三十人ほど泊れる十七坪餘のスキー小屋をこしらへ「池田小屋」と名づけて洽く同好者の使用に供することとなつた▲尙之と同時に遭難防止用の鈴十箇に亡兒の法名「淸林一音」と刻して各スキー小屋に寄贈した▲右池田小屋は內務省內國立公園の藤田技師の設計に成り本月十五日落成式を擧行池田支店長の代りに同夫人が參列することになつてゐる▲誤り死んだ亡兒の爲めには此上ない追善ともなり又我が國のスキー場には初めての試みであるとて內地でも大分評判になつてるさうだ

東部治水にはダム發電が有利

明治生命常務 山下恒雄氏談

明治生命保險の常務取締役山下恒雄氏は本島を一周して三十一日東部より來北、一日蓬萊丸にて歸京の途に就いたが、氏は今［illegible］二十年前［illegible］長として來臺、視察した事があり今度は二度目である三、次の如く所感を語つた

明治生命が臺北に出張所を置いたのは去る大正七年でそれ以前臺灣がまだ福岡支店の管轄內にあつた當時、丁度今より二十年前私が臺北と臺南に各一名の出張員がゐた福岡支店長として初めて渡臺した頃臺灣に於ける明治生命の契約高は一箇年僅に四十萬圓內外に過ぎなかつたが、今では一ヶ月の契約高が百五十萬圓を下らぬといふ盛況ですから、洵に今昔の感に堪へない、本島の主なる都市中二十年前に比し最も著しく面目を更めてゐるのは高雄であり嘉義も相當活氣があるやうに見受けた、東部は今度初めて視察したわけであるが、西部に比すれば交通もまだ不便で從つて開發も遲れて居り個人のやれることは可なり手が著いてゐるやうに見受けたが、政府の手に待たねばならぬやうなものは未だ殘つてゐるやうだ、その一例に治水工事であり一里に近い河幅が自然のまま放任されてあるのは甚だ遺憾である、築港に次では治水工事が最も急施を要する事業であり、府廳に日本電力の富山縣黑部の大ダム（高さ二百九十尺）のやうに上流に大きなダムを設けて水電事業を起せば一キロ二百圓位で出來ようし一面山嶽部の天水をダムに貯水することによつて平地の水害を緩滿防遏する等一擧兩得の方策であり又水電を起せば國家に必要なアルミニウム其他の工業を起すことも出來ようし內地人の移住者も增加し而も農業移民よりも工業移民の方が遙に成功の可能性多しと考へ東部の開發策に就て藤村花蓮港廳長にも私の意見を述べて置いたやうな次第である、本島を一巡して天惠豐かに島民が肥え太り民度の向上せることには一驚を喫した、朝鮮に比し確には一日の長があり保險思想の如きも內地人と共に進んでゐるが、唯だ內地人と違つて保險を射倖的に契約する弊が抜け切らないのは甚だ遺憾とするところで、保險會社に於ても之らの惡手段に乘らないやう充分戒心しなければならぬと考へる、臺北出張所もお蔭で漸次發展し去る六月以來新築中の社屋も明年六、七月頃竣功するので臺北出張所を臺灣支部に昇格することに內定してゐる

臺北組合銀行週報

十月二十四日現在（單位千圓）

項目	當座預金	特別當座預金	通知預金	定期預金	諸預金	預金合計	金銀有高
組合銀行合計	5,579	29,375	5,078	20,985	5,731	66,751	4,916
前週10月17日	6,138	29,145	5,100	20,610	5,383	66,379	4,810
前年10月25日	7,254	28,855	5,154	18,095	2,588	61,957	5,[illegible]

項目	割引手形	手形貸付	證書貸付	荷付手形	買入外國手形及荷付	當座貸越	貸出合計
組合銀行合計	36,353	15,405	39,143	934	730	1,223	93,821
前週10月17日	35,221	15,183	38,921	1,095	714	703	91,841
前年10月25日	39,532	17,846	41,592	2,239	651	641	102,541

投機化した正市の二期蓬萊戰

大取組

當限は既に天井打ち四日の納會が注目さる

十一月五日迄の二期蓬萊出廻りの多寡を賭けた正米市場當限戰は出廻れに乘ずる投賣・紀木役等大手の賣抑りと期米高の後援にマバラ賣方が煽れ上げ去る卅日十圓六十錢といふ新高値を出したが、此の間賣方もセッセと利喰の態度をとつたのと加藤、三井等が出廻り早き蓬萊商州米殊に北港米を十圓二十五錢內外で買付け之を北部と同格で正米市場へ賣繋いだので女レ氣味となり二日は當限十圓三十六、七錢と高値より二十三、四錢安を告げ先限も九圓六十錢と十錢方引緩んだ、二日現在正市の二期蓬萊取組高は當限五百八十九車、中限七百八十七車・先限二百十九車で殘日前に比し當限四十餘車、中限六十餘車を減してゐるが、依近年稀な大取組であり就中當限の買方は投機の二百六十一車が筆頭で之に對する賣方の主力は貿易の二百七十二車、加藤の百二十七車であり中限は加藤の三百四十八車買（內地買りの繋ぎ）に對し投機の百四十五車買が主なるものである新蓬萊の出廻りは最近著増し高雄の在庫も急に增加して來たが基隆にまだ殘らないので當限戰が四日の納會で如何なる結末を告げるかは興味ある見物として注視されてゐるが、移出商、現貨業者の賣繋ぎが可なり多いのと高値は米の呼太鼓となつて實物の出廻りを促進しつつあるので採算的に見る限り過日の十圓六十錢で既に天井を打つたものと見られ結局賣方が相當受米するにしても現物相場に近いところで納會するのではないかと見られてゐる

二期蓬萊米移出

一日迄に三萬六千袋

臺灣米穀移出商同業組合で調べたところに依れば一日高雄港を出帆した萬光丸で東京向五千三百二十袋横濱向四百二十五袋、名古屋同二千三百四袋、その他四百袋計八千四百四十九袋の二期蓬萊米の大量移出あり、右に依り同日現在の二期蓬萊米の移出累計數量三萬六千十五袋に達し、前年同日現在の同期蓬萊米の移出數量一萬四千九百四十四袋に比べて二萬餘袋を增加してゐる出廻が鈍い割に移出量が多いのは端境末期の內地に於て［illegible］米が著しく不足してゐるに［illegible］するが、新米の味を買はれた［illegible］移出增の一原因として解されねばならない、即ち本期の蓬萊米は內地米の出盛る前が花とされ、今頃に出盛るのは考へ物とされてゐる［illegible］は十一月末日現在一期蓬萊米の移出累計數量は左の如［illegible］

蓬萊米	六、〇二［illegible］	
丸糯米	四［illegible］	四二［illegible］
在來米	一［illegible］	四［illegible］
長糯米	四、［illegible］	一三五［illegible］

新蓬萊檢査高

最近激增 北支

［illegible］

板硝子の需要

最近殊に活潑

販賣統制の爲め設立されたる臺灣板硝子販賣會社は去九月二十一日創立總會を開いてからまだ一ヶ月半に滿たぬが創業以來營業成績頗る順調にして株主たる全島の板硝子販賣業者への取引契約高一萬九千箱に達し年消費高の三分の一弱に相當する盛況で右の內最近までに入着せるものは約九千箱である、板硝子の需要が斯く旺盛なのは臺灣の工業化氣運と農村景氣の爲め各地に建築工事盛んな反映であるが、殊に臺中州下は建築規則により必らず家屋に窓をつくらなければならぬことになつて居り農村一帶に家屋の新築盛んな爲め特に此の方面の板硝子需要は活潑で注文殺到の有樣であると

皮肉な現象

支那に置籍の變態輸入船增加

支那の邦船排斥の露骨化に對策が痛感視さる

【東京二日發本社特電】最近に於ける支那の邦船排斥はやうやく露骨となり、諸外國よりの支那向貨物に對しては邦船の參加は全く除外されてゐるので、日本船主協會では過般神戶に開催された理事會に於て右に對する抗議的態度を關係官廳を通して支那側に明にすべき事を協議したが、一部で仔細に調査した結果支那の邦船排斥は反つて一部船舶の支那置籍［illegible］

變態輸入船の增加による事實が判明し、船主協會首腦部を困惑させてゐる、即ち最近の我變態輸入船には［illegible］總計且二萬十八萬四千噸［illegible］年稀有の好記錄を示してゐる［illegible］

［illegible］

興味津々たる植物操作の萎凋

（二）臺中農試に於て

［illegible］

社債發行の停頓

增稅案發表［illegible］

［illegible］

一、二界に共販で［illegible］

［illegible］

商況（二日）

臺中米價（二日）

△蓬萊米一期一〇圓一五錢、二期一〇圓四五錢△丸糯九圓一〇錢△出來高蓬萊米一期八五二袋、同二期三二九袋△丸糯八五三袋（臺中電話）

全島內米肥

臺米現物相場

	基隆高雄賣渡百斤	前日對比
南部一期在來米	八、六〇	同
北部一期蓬萊米	九、九五	三安
中部一期蓬萊米	一〇、一五	四安
南部二期蓬萊米	一〇、二五	八安
北部一期丸糯米	九、〇八	二安
中部一期丸糯米	九、一三	三安

基隆在庫米

	二日朝現在
一期蓬萊米	一〇、二四九袋
二期蓬萊米	二、二〇五
一、二期蓬萊白米	五、五八七
一期丸糯米	一六、〇六三
一、二期丸糯白米	七五五
到着米 一〇五車（二日分）	一、二三六噸

高雄在庫米

	二日朝現在
一期蓬萊米	八三〇袋
二期蓬萊米	二〇、二三一
一期丸糯米	一、〇六六
一期在來米	二、一二二
二期在來米	八〇
一期在來白米	六五〇
二期在來白米	一五一

正米市況後場

▲一期蓬萊米 當限六市［illegible］

▲一期丸糯米［illegible］

［illegible］

東京期米後場

［illegible］

神戶期米後場

［illegible］

堂島兩建控除俵合

當限 二〇八、四〇〇石 賣方 北川以下二十三店 買方 稻先以下六店

中限 一三七、二〇〇石 賣方 水野以下十八店 買方 廣瀨以下十一店

先限 一〇、〇〇〇石 賣方 北川以下十三店 買方 岡米以下八店

本日出來高 七四、三〇〇石

各地正米

大阪 十錢安 東京 一、［illegible］錢安 神戶 不變

各地期米跡氣配

大阪十二、四錢 神戶九十九錢、〇一錢 東京三十錢、三十二錢

堂島前場先限主なる手筋

賣方 湖政、中東筋、西筋、地場弱氣

買方 堂島筋、東京筋、地場强氣

堂島兩建控除前場先限主なる手振（單位石）

賣方 北川、上楠一、〇〇〇 潮先 水野、丁崎七〇〇

買方 岡米一、五〇〇 廣瀨一、一〇〇 岡崎七〇〇

堂島米況後場

【大阪二日發】前場亂高下の氣先後場は當限五丁高中限一丁安に先限は東京筋地場强氣筋買に二十九圓十錢と手堅く寄付き期近物の引返しに十九錢と昂騰したが軟派の當押へに十錢と落し結局十四錢と引けた

堂島米況前場

【大阪二日發】月末不良化の氣先休日明けの場面は產地正米一、二十錢軟弱に當限に利喰賣物輻湊し十三丁安中限七丁安に寄附き新甫一日限は北川、上楠、潮先、水野等賣り岡米、廣瀨等買に氣配通り二十九圓〇四錢と十二丁方下鞘に發會し期近崩割れに先限も追隨して九十九錢と八圓臺を覗きしも地場强氣筋買支へに九圓臺に引返し〇九錢と上進び止前〇五錢と垂れたが結局〇九錢と氣を入れ前場を終つた

堂島雜觀

【大阪二日發】新甫一日限は二大差なく二十九圓〇四錢と十二錢下鞘に發會を見たが［illegible］八圓臺を覗いたが［illegible］九錢の高値止めを見たが休日控へ［illegible］一般に休日明待ちの態度であつた

株式

大阪短期後場

［illegible］

北濱雜觀

【大阪二日發】休日に挾まれ新規買內薄で活氣ないが支那側の決裂回避態度に日支交渉の不安人氣緩和され概ね底堅く始まり人絹株强調に人氣見直し日鐵は配當落ながら百十九圓六十錢と手堅く他の鐘紡株も底堅く［illegible］株は國策進捗から持株筋の買き緊迫に［illegible］鐘株は部分高下東新は寄付網戶筋の買直しに［illegible］を示したが東京の下鞘と地場五人組の買ぬけに加へ遂に步五十錢（二百間）の關係もあつて後場へずも東株西硬を示した

東京株況前場

【東京二日發】前後が休日に挾まれた今新甫發會の場面には双方警戒嚴重で活氣乏しかつた、長期新鐘株では朝鮮筋の一圓三十錢安が目立ち人絹株は帝人一圓三十錢高始め三、四十錢高砂糖株日糖系諸株は三、四十錢の區々東洋株は買方の手仕舞で古河の三圓餘安をはじめ七、八十錢安盤瓦盤草等も一圓內外安ながらラサ工は八十錢高東株は新新一圓安に引け、短期內外商勢依然面白からぬものあるので新規買後續せず新東は四十錢安の百三十九圓丁度と寄り其の後九圓五十錢まで引締めたが引際反買を誘し八圓二十錢の安値あり［illegible］

東京株況後場

【東京二日發同盟】長期、紡績人絹株氣重く砂糖株も帝糖の八十錢安以下軟弱貿易株は買方の手仕舞ひ頻出して石川島新潟鐵鋼は軒並に三、五十錢乃至一圓餘安古河新は押目買に二圓二十錢方反撥し盤城炭は內容親觀で新盤二圓方印かれ東瓦松竹ラサ工北樺等一、二圓安、但草新、日清粉新二圓內外高東株は四十錢安新は保合であつた短期 新材料なく休日控へ兩係もあり强弱兩方とも自重し動かず低迷情態に推移新東は百三十八圓五十錢と寄付きその鼻八圓八十錢まで引締めアト買方の手仕舞に八圓二十錢の安値を附けたが結局八圓八十錢と戻して引け人絹株も高値保合ひ日產系も氣重く電力株も低位で漸步安を辿つたの策動もあり獨步的好調を示し他は軟調に終つた

大阪長期後場

［illegible］

東京短期後場

［illegible］

東京株式短期日步

新東 四十錢 日產 三十二錢

東京長期後場

［illegible］

爲替

臺銀建値

倫敦	一志二片
紐育	二八弗一六分九
孟買	七七留四分一
新嘉坡	二〇二圓四分一
爪哇	五二盾四分一
馬尼剌	一七五圓
上海	一〇四圓八分三
漢口	一〇四圓八分三
福州	一〇四圓八分三
廈門	一〇四圓八分三
汕頭	一〇四圓八分三
香港	八六圓（ノミナル）
廣東	一〇七圓八分七

絲況

大阪綿絲

▲後場 寄 引

十一月限 二三七、五〇 二三七、五〇

五月限 二〇八、七〇 二〇九、〇〇

大阪棉花

▲後場

二月限 六五、四〇 六五、三〇

大阪人絹

▲後場

十月限 六二、九〇 六三、一〇

橫濱生絲

▲後場

四月限 七七四、〇〇 七七七、〇〇

砂糖

大阪淸算

▲後場

一節 十一限 一二三七 十二限 一二四〇

二節 十一限 一二三二 十二限 一二四四

三節 十一限 一二二八 十二限 一二二七

穀肥

大連特產前場

	寄	引
大豆現物 十一月限	五、八〇	五、八〇
十二月限	五、七五	五、七二
一月限	五、七二	五、七二
二月限	五、七一	五、七四
三月限	ー	五、七六
豆粕現物 十一月限	一、七四〇	一、七六五
十二月限	一、七四〇	一、七四〇
一月限	一、七四〇	一、七四五
三月限	ー	一、七三五
豆油現物	ー	一、七六〇
十二月限	ー	一、八四〇
一月限	一、八二〇	一、八〇五
二月限	ー	一、八二五

大連特產在庫高

出廻 在庫

大豆 四四三車 一、九四四車

豆粕 一四車 三萬八千枚

豆粕月產高 二萬二千枚 天候晴

大連特產出來高

定期 現物

大豆 四九五車 三〇〇車

豆粕 八萬九千枚 九千枚

大連特產前場況

【大連二日發】休日明けの特產市場は歐洲方面の買氣乏しきと出廻增加、奧地安等に賣物嵩みから各限とも休日前に比し十二、三錢方下放れて寄付き軟調を呈した國內活況豆粕豆油も大豆不良に連れ軟弱油房筋は大量賣つた輸出筋良く買つた

神戶豆粕

▲後場 一節 十二限 四、〇七 一限 四、〇六 二限 四、〇七［illegible］

神戶市中振替

大豆現物八、六〇 同先物七、四〇 豆粕現物二、一一 同先物四、四〇 小麥內地物九、五五 麥粉百合四、四〇 三、七五 錢上海物三、六〇 石油現物二、七〇 過燐酸一、二五 硫安物一、二五

神戶硫安相場

［illegible］